

ハンドボール

特集

第8回春の全国中学生選手権大会

第10回東アジアクラブ選手権

第1回U-22東アジア選手権

6・7 5

JUN. JUL. 2013 No.536



[表紙写真] 第8回春の全国中学生選手権大会、男子優勝・大分中の本田悠也選手(左)、女子優勝・西中原中の山田美穂選手:写真提供・スポーツイベント社

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」
私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに
世界に類のない、ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして
常に完璧な製品づくりを目指しています。

平成25・26年度日本協会理事・監事が決定

平成25年6月8日(土)開催の第1回評議員会にて理事28名・監事2名が承認され、その後、6月15日(土)開催の第1回理事会において、互選により、会長、副会長、専務理事、常務理事などの役職が決定されました。



平成25・26年度日本協会理事・監事

氏名	ふりがな	役職	担当
渡邊 佳英	わたなべ よしひで	会長	
市原 則之	いちはら のりゆき	副会長	全般・強化
多田 博	ただ ひろし	副会長	日本リーグ機構会長、マーケティング
山下 泉	やました いずみ	特任副会長	
鶴保 庸介	つるほ ようすけ	特任副会長	
橋本 聖子	はしもと せいこ	特任副会長	
齋藤 健	さいとう けん	特任副会長	
川上 憲太	かわかみ けんた	専務理事	全般、マーケティング本部長
大橋 則一	おおはし のりかず	常務理事	総合企画室長、総務本部長
角 紘昭	すみ ひろあき	常務理事	普及指導本部長
津川 昭	つがわ あきら	常務理事	強化本部長
江成 元伸	えなり もとのぶ	常務理事	競技本部長
西窪 勝広	にしくぼ かつひろ	常務理事	日本リーグ委員長、強化委員
蒲生 晴明	がもう せいめい	常務理事	総務副本部長、国際
藤森 徹	ふじもり とおる	常務理事	総務副本部長、マーケティング副本部長
志々場 修二	ししば しゅうじ	常務理事	競技副本部長
藤井 俊朗	ふじい しゅんろう	常務理事	競技副本部長、審判部長
朝生 和光	あそう かずみつ	常務理事	組織活性化プロジェクト
春日井 条治	かすがい じょうじ	理事	社会人連盟理事長
松井 幸嗣	まつい こうじ	理事	全日本学生連盟
船木 浩久	ふなき ひろひさ	理事	全国高体連専門部
小越 康雄	こごし やすお	理事	北海道協会
高山 重雄	たかやま しげお	理事	東北協会
稲生 茂	いなお しげる	理事	関東協会
庄司 勝三	しょうじ かつみ	理事	北信越協会
池本 聡	いけもと ふさし	理事	東海協会
中村 博幸	なかむら ひろゆき	理事	近畿協会
山本 一	やまもと はじめ	理事	中国協会
佐藤 公美	さとう きみよし	理事	四国協会
田中 守	たなか まもる	理事	九州協会
村林 裕	むらばやし ゆたか	理事	総合企画室
東海林 祐子	とうかいりん ゆうこ	理事	女性委員会
伊藤 宏幸	いとう ひろゆき	監事*	
近森 克彦	ちかもり かつひこ	監事*	

* 定款第33条により理事任期は2年であるが、監事は同第2項により4年である。

春の全国中学生 ハンドボール 選手権大会

最終順位

【男子】

優勝：大分中学校（大分県）

準優勝：名古屋市立桜田中学校（愛知県）

3位：氷見市立西條中学校（富山県）、福井市明倫中学校（福井県）

【女子】

優勝：川崎市立西中原中学校（神奈川県）

準優勝：岩国市立平田中学校（山口県）

3位：京田辺市立大住中学校（京都府）、沖縄市立美東中学校（沖縄県）

男子：大分中学校（大分）、女子：西中原中学校（神奈川）、ともに初優勝！

平成24年度第8回春の全国中学生ハンドボール選手権大会は、平成25年3月24日（日）～3月27日（水）の日程で、氷見市ふれあいスポーツセンター、富山県立氷見高等学校第一体育館、旧富山県立有機高等学校第二体育館の3会場で行われた。男子は大分県の大分中学校が、女子は神奈川県の大分中学校が共に初優勝を飾った。

[写真提供：スポーツイベント社]





【男子優勝】大分中学校（大分県）

監督 瀧元 泰昭

はじめに、第8回春の全国中学生ハンドボール選手権大会を開催するにあたり、ご尽力いただいた関係機関、関係各位の皆様へ改めて、厚く御礼申し上げます。

このたび第8回全国中学生ハンドボール選手権大会において初優勝を果たすことができました。県勢としては昨年の滝尾中学校に続き、2年連続で優勝できたことを大変嬉しく思います。これも創部二年という浅い歴史の大分中学ハンドボール部を、学校の理解、保護者の協力をはじめ小学校時代の指導者方、支えて下さるすべての方々が暖かく見守り続けてくれたおかげで達成できたと感謝しております。そして何よりもこの大会を目標に日々練習を重ねてきた生徒達の努力の賜物です。

大分中学ハンドボール部は平成23年の4月に創部されました。大分国際情報高校（旧・大分電波高校）で長年指導された富松秋先生が「新しい環境でハンドボールを」の思いからスタートをきりました。小学校時代からのハンドボール経験者9人で約2年間取り組んできました。

練習場所の確保等、決して十分練習ができる環境ではありませんでしたが、一年生の時から公式戦を経験し、少しずつ力をつけてきました。体格的にも決して恵まれていない選手達ですが、日々のトレーニングの中に走りのメニューを増やし、コツコツと体作りに励んできました。昨年の滝尾中学校の優勝にも刺激をうけ、一つ下の後輩ながらも、「自分達もいつかは」の思いで日々の練習に取り組みました。

また昨年のJOCのメンバーにも現3年生のうち4人の選手が選ばれ、より高いレベルのハンドボールを経験できたことも大きくチームのレベルが上がるきっかけになりました。

今後の目標は基本をおろそかにせず、夏再び頂点を目指すことです。新一年生も加わり、16名になりました。全員で目標に向け、新たな挑戦をしていこうと思います。

主将 豊田 翔

「堅守速攻、心は一つ！」をテーマに勝負に勝つための練習に取り組み続けた結果、少ない人数ながら、目標の一つであった「春中優勝」を達成することができました。

全国には、すべてのチームがそれぞれの特徴や得意とするプレーを持っており、その中を勝ち抜くのは困難でしたが、それでもチーム一丸となって戦えたということはとても良い収穫でした。自分達は去年の夏、好展開なゲームで何とか二年生だけで全国中学校大会に出場することが出来ましたが、三年生にとっては最後の大会、自分達の考えの甘さなどがあり、一回戦で敗れてしまいました。それからは自分達の甘い考えを捨て、「体の大きい相手にどのようにプレーするか」「苦しい場面でどれだけ声をかけ合うことができるか」を意識して練習に取り組みました。

年が明けると、県外に遠征や、体の大きい高校生と一緒に練習しました。攻撃面では、ボールを持っていないときのフェイント、視野外の動きを練習し、体格不足を補うことができました。守備面では、ボールの位置と次のマークをバランス良く見ながら、一対一でしっかり守ることを練習し、急な攻撃展開にもついていくことができるようになりました。厳しい練習の甲斐もあり、自分達は大きな自信を持って大会に臨むことが出来ました。

最後に、自分達はいろんな方々の支えがあってようやく成り立っているチームです。感謝の気持ちを忘れずに「堅守速攻、心は一つ！」夏にもう一度頂点にチャレンジできるよう頑張ります。応援して下さいましたすべてのの方々、本当にありがとうございました。



監督 大房 勝則

川崎市立西中原中学校は過去、春中で準優勝1回、夏の全国大会では準優勝2回という結果を残しています。全国でも常連校としてとりあげていただいているのは、地域の野球チームやドッジボールクラブなど多くの方々の支えとご協力によって、ハンドボールの楽しさと高い志を持った子たちが入学してくることも大きな要因の一つだと思います。しかし、全国の強豪校に比べれば、小学校からあがってくる生徒は決してハンドボールをよく知っているというわけではありません。ハンドボールの個々の技術は全国レベルでみれば劣っているとんでも過言ではないと思います。

そんな中、過去の先輩方が残した大きな目標に、追いつけ追い越せを合言葉に、一年生から高い目標に向かって日々練習に取り組んできました。

今回の新チームがスタートしてからは、西中原中学校の伝統でもある、ディフェンスから速攻を中心に練習に取り組んできました。市予選では速攻のタイミングは全く合わず、パスミス・キャッチミスから自滅をしてしまう状態でした。しかし、試合ごとの反省を練習で修正するというのを、ただひたすら地道に繰り返しながら、徐々にではありますがチー

ムとしてのカタチをつくっていくことができました。

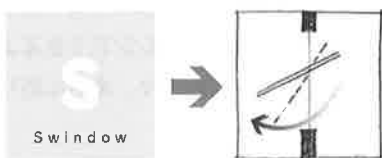
春中に至るまでも、多くの招待試合や練習試合に呼んでいただき自信をつけることもできましたが、プレー以外の所でも反省しなければならないことが数多くあり、本気で勝負をする心の持ち方や、生活態度など多くの事を学ばせていただき大会に臨むことができました。大会中でも向上心を持ち続け、試合ごとの反省点を部員全員で共有するとともに、全員が今自分が出来る事をただひたすら「チームのために」取り組んだことが、今大会の優勝という結果になったのだと感じています。

チームとしても個々としても、まだまだ未熟ではありますが、このような貴重な経験をさせていただいた事を糧とし、夏に向けてまた地道に取り組んでいきたいと思ひます。

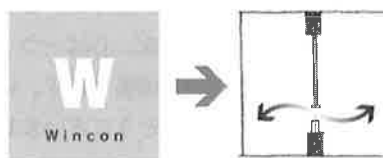
最後に、今回春中の大会にご尽力いただいたハンドボール関係者の方はもちろん、あたたかいおもてなしで気持ち良く迎えていただいた氷見の方々と、優勝に至るまで多くのご声援をいただいた神奈川の先生方に、心より感謝申し上げます。

『呼吸する建築』

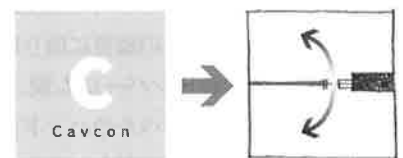
『ナビウインドウ 21』 NAV WINDOW 21



Swindow ● スウィンドウ



Wincon ● ウィンコン



Cavcon ● キャブコン

三協立山株式会社 三協アルミ社 営業開発部 〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル18F TEL(03)5348-0360 <http://www.nav-window21.net/>



国道沿道には大会開催案内と、参加する地元中学の選手名入り看板が目立つ



大会会場の周辺

8回目の大会、氷見は町を挙げての大会運営、ボランティアの皆さんも大活躍



会場前には、各県代表中学の校名入りの幟が選手と保護者を歓迎



今年の大会プログラムの表紙は、ポスター作品展最優秀賞の森合見さん(氷見市立北部中学校)の作品が飾る



氷見市内のマーチングバンド「ムジカグラト氷見」と市内中学生で編成のダンス隊らで、演奏と踊りを披露

開会式前のアトラクション



恒例となった、「寒ぶりっ娘」の歌で開幕



男子日本代表の宮崎大輔選手から中学生ヘシュートの指導



ツカムチカラ

【ダイドウザリガニ】

特性/ハサミが力強く、
夢・希望・時代を掴む力に優れていて
未来へ突き進む強靱な尾を持つ。

大同には「ツカムチカラ」がある

★大同特殊鋼

www.daido.co.jp



入場行進の先頭は、昨年度優勝の男子・滝尾中学(大分)、女子・けやき台中学(茨城)



渡邊佳英協会会長より挨拶



堂故水見市長より歓迎のこたば



大会参加の91校が勢ぞろい、会場には3千人を超える人が参加



北村茂男総務大臣政務官より祝辞



島久雄市議会議長より祝辞



各校の応援旗が集った中、参加選手を代表して、男子水見市立西條中学・中島健汰主将と女子水見市立十三中学校・寺山美妃主将が宣誓



水見市立北部中学2年の谷内駿介選手より、大会5日間をお互いに頑張りますように、応援のメッセージ

OSAKI



mind

豊かな明日を切り開く、大崎マインド。



限られた資源だから、有意義に使っていききたい。

命あるものたちが共存する地球だから、

快適な環境を守っていききたい。

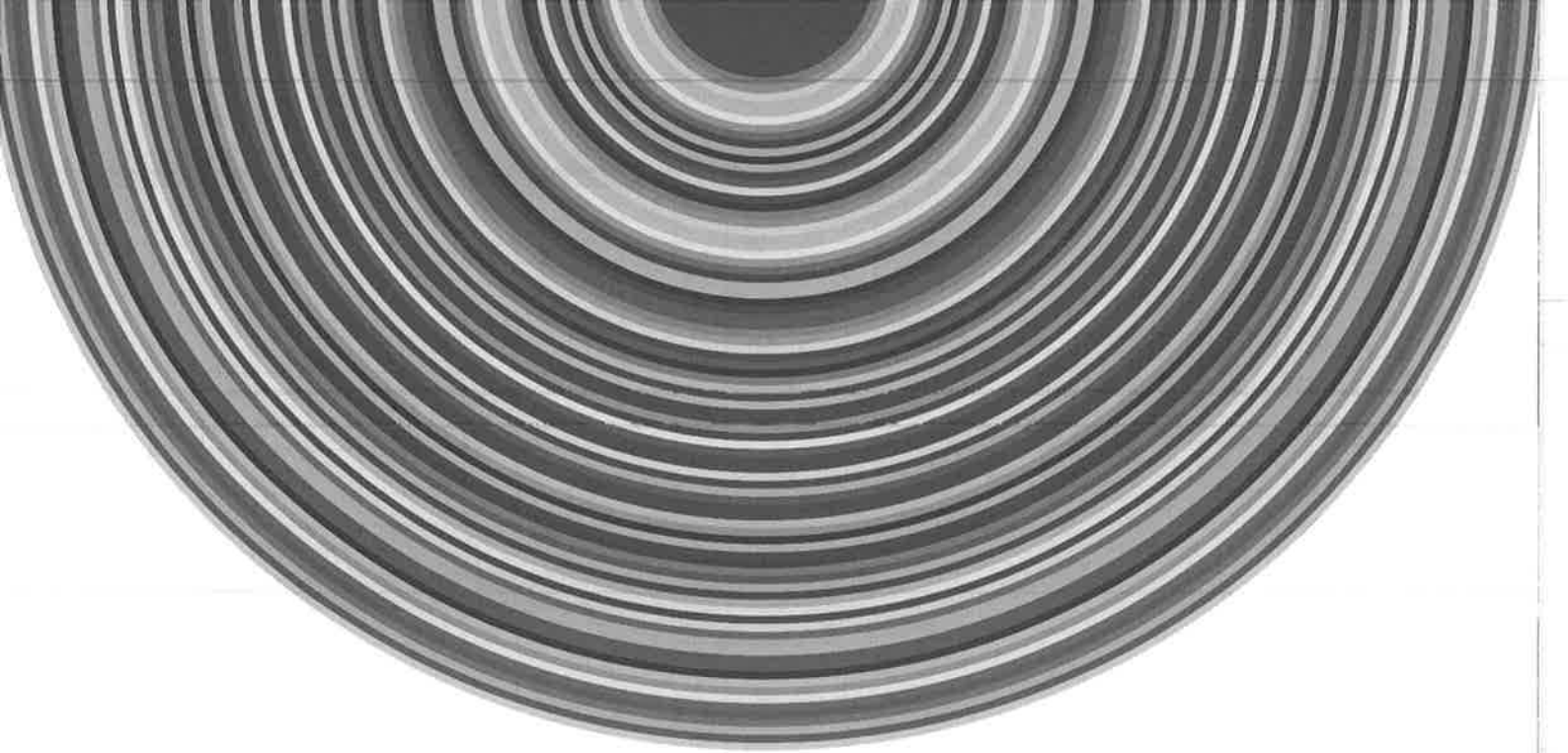
計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、

ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、

つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)



積み重ねてきたのは、
信頼です。

chemicals
information technology
electronic materials
environmental technology
worldwide business

www.emori.co.jp

江守商事株式会社

代表取締役社長 江守 清隆



本社／〒918-8510 福井市毛矢1丁目6-23 TEL.0776-36-1133(代)

第10回

東アジア ハンドボール クラブ選手権 大会

日程：2013年4月5日～7日

場所：韓国 亀尾市(クミ市) パク・ジョンヒ室内競技場

男子星取表

順位	斗山	コロサ	大同	江蘇	数	勝	分	敗	得点	失点	差	点
1.	斗山 (韓国)	22 ○ 18	28 ○ 20	20 ● 24	3	2	0	1	70	62	8	4
2.	コロサ (韓国)	18 ● 22	27 ○ 22	27 ○ 25	3	2	0	1	72	69	3	4
3.	大同特殊鋼 (日本)	20 ● 28	22 ● 27	25 ○ 21	3	1	0	2	67	76	-9	2
4.	江蘇省 (中国)	24 ○ 20	25 ● 27	21 ● 25	3	1	0	2	70	72	-2	2

※勝敗(○△●)の上が得点、下が失点を表す。

女子星取表

順位	三陟	仁川	オム	安徽	数	勝	分	敗	得点	失点	差	点
1.	三陟 (韓国)	20 ○ 18	23 ○ 20	37 ○ 31	3	3	0	0	80	69	11	6
2.	仁川 (韓国)	18 ● 20	23 ○ 22	26 ○ 25	3	2	0	1	67	67	0	4
3.	オムロン (日本)	20 ● 23	22 ● 23	28 ○ 25	3	1	0	2	70	71	-1	2
4.	安徽省 (中国)	31 ● 37	25 ● 26	25 ● 28	3	0	0	3	81	91	-10	0

※勝敗(○△●)の上が得点、下が失点を表す。

男子：大同特殊鋼

東アジアクラブ選手権を終えて

大同特殊鋼総監督 清水博之

この度、4月5日～9日に韓国で開催された東アジアクラブ選手権に参加して参りました。第37回日本リーグのレギュラーシーズンは4位という結果でありましたが、プレーオフではチーム一丸となり2年連続で栄冠を勝ち取ることができ、今回の大会出場権を得ることができました。大会に挑むに当たり、「日本クラブチームの代表であること」「参加できる男子チームは日本で一チームであること」「これまで一度も勝っていない韓国チームに対し勝利すること」大きく3点を胸に刻み戦いました。

初戦の斗山(韓国)はシュートミスよりリズムを崩し、0対4の非常に苦しい立ち上がりとなりました。なんとか中盤踏ん張り6対6に追い付くも、積極的なプレスDF(3-3)を攻略することができず5点ビハインドで折り返しました。後半はミスからの逆FBを許してしまい、点差をさらに広げられ8点差という不甲斐ない結果となりました。

2戦目の江蘇省(中国)では、再度今大会に参加している自覚と責任を確認し、必ず勝利をする強い気持ち、どんなことがあっても諦めない気持ちをパフォーマンスとして表現することを誓い挑みました。2m近い大型選手が多数いる中国

に対し、プレスDFでプレッシャーをかけ前半こそ3点ビハインドで折り返したものの、後半立ち上がりで追い付き終盤さらにDFからのFBで突き放し何とか勝利をものにすることができました。

最終戦のコロサ(韓国)は、初戦の反省を活かし立ち上がりや試合運びを再確認し挑みましたが、逆にプレーが消極的になり得点を奪うことができず、終始リードされ5点差で敗れました。

大会を終え、まだまだ韓国勢との実力差があることを痛感しております。1つは基礎プレーの確実性(パスキャッチ、ノーマークシュート、フットワーク等)2つ目は勝負どころのプレーと集中力(流れを変えるために必要なプレーは何か)3つ目は戦う姿勢(激しい接触)であります。また中国も大型化に機動力が加わり、優勝した斗山から勝利を奪うなど今後ますます脅威になると感じております。

最後になりますが、今大会を開催するにあたりご尽力ご協力いただきました日本協会関係者、また最後までご声援くださった皆様方、本当にありがとうございました。今回の結果を謙虚に受け止め課題を克服すべく心機一転トレーニングに精進し、来年こそは東アジアの栄冠を日本に持ち帰るべく選手とともに頑張る参ります。今後ともご声援よろしくお願い申し上げます。

第10回東アジアクラブ選手権に出場して 大同特殊鋼ハンドボール部主将 地引 貴志

4月5日～7日に韓国のクミ市で開催された第10回東アジアクラブ選手権に日本の代表クラブチームとして大同特殊鋼が出場させて頂きました。

今大会に臨むに当たり、まだ一度も日本代表のクラブチームが韓国代表チームに勝っていない現状があり、韓国代表の2チームに勝ち東アジア選手権で優勝することを目標に掲げました。ですが、結果は中国代表チームである江蘇省には勝つことができましたが、韓国代表チームであるコロサ、斗山に負けてしまい3位という悔しい結果に終わりました。

まず中国代表チームの江蘇省と試合をして感じたことは、以前も東アジアクラブ選手権で何度か試合をした事がありましたが、明らかにその時よりもプレーのスピードが上がっており、ミスも少なくなっていると感じました。またプレスDFで高めにプレッシャーをかけましたが、規格外の高さで日本の試合ではあり得ない所からのDSシュートが入ることがあり、いつも以上に厳しく当たりシュートを打たせないように守るしかありませんでした。最終的には相手の体力が尽きてDFからFBで得点し、逆転勝ちすることができました

が、中国チームのポテンシャルの高さには脅威を感じ、今後とも簡単に勝つことは難しくなっていくのではないかと感じました。

次に韓国代表2チームと試合をして感じたことは、まず韓国のフットワークを活かした高いプレスDFを崩すことができず、セットOFで得点をなかなか取ることができませんでした。DFの当たりひとつにしても日本ではない程当たりが激しく自由に切らせてもらうこともできませんでした。大同も組織的なDFやOFで対応している時間帯もありましたが、韓国選手は1点を争う緊迫した試合の中でも確実なプレーで確率良く得点に繋げる個人技を持っており、DFでも後手になってしまう場面が目立ってしまいました。

今大会で3試合戦い1勝2敗というとても悔しい結果でしたが、試合を通して感じたことは、国際大会ではどんな状況であっても当たり前のことを当たり前でプレーできる強い精神力がまず一番必要であると感じました。また宿敵韓国に勝つためには、個がこれ迄以上に心・技・体を練習から鍛えていき、もっと強い集団にならなくてははいけないと感じました。

最後にこの大会にご協力頂いた関係者の方々へ感謝申し上げるとともに、悲願の東アジア選手権優勝を目指してこれからも頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご声援宜しくお願いします。



三菱重工パーキング

スマートリフトパーク
人と環境にやさしい

セルパーク
独自システムでより速く、スマートに

三菱立体駐車場

三菱重工パーキング株式会社

本社/パーキング営業部
〒220-8401
横浜市西区みなとみらい3-3-1(三菱重工横浜ビル)
TEL: 045-200-7518

<http://www.mhiparking.co.jp>

女子：オムロン



第10回東アジアクラブ選手権に出場して

オムロンハンドボール GM 代行 西窪 勝広

第10回東アジアクラブ選手権大会が韓国・亀尾市で開催された。亀尾市は現韓国パク大統領のお父様の生まれ育った地との事で、大会開催体育館もパク・ジョンヒ室内競技場との名称がつけられていた。体育館は5,000名を集客できる大きさと国際大会を開催する条件を整えた規模であり、日本も国際大会が常に開催できる施設の重要性を感じる次第であった。宿泊関係も韓国を除く中国男女、日本男女の各国チームと大会役員も同ホテルに滞在し食事関係も何ら問題は無く、季節的にも宿泊したホテルの周りは桜が満開で、観光客も多く試合の合間に気持ちの癒される時間も満喫できた。

大会運営に関しては韓国ハンドボール協会、亀尾市ハンドボール協会の細かな配慮で運営され、オムロンチームでは大きな問題も無く、各チームにバス1台が割り当てられ輸送もスムーズな管理がされていた。

試合もインターネット中継で発信されており、韓国もハンドボールの人気度アップに努めている姿を垣間見る事が出来、日本と同様な厳しい環境にあるような気がした。

大会1日目はオープニングセレモニーが行われ、多くの観客も来場し大会の盛り上がりを感じたが、開幕戦以外の韓国戦も含め集客に関しては寂しさを感じる大会でもあった。

女子に関しては中国との体格差を感じたがスピード、テクニクに関しては韓国、日本がレベルの高さを感じ、対韓国に関しては体格のハンディーは以前と比較するとあまり差を感じる事は無く、組織的なスピードにおいても違和感を感じることは無かった。しかし、個々の身体能力の高さが最終的に1点差、3点差で敗退する結果になった。

今大会に参加し日本リーグの役割の重要性を再確認した。

常に日本リーグの各試合で体を張った激しいあたりの中での体感強化と、スピード感あふれる試合を1時間展開できる基礎体力の必要性を強く感じた。特に激しいあたりに関しては、ラフプレーではないDF正面での厳しい罫迫り合いでのぶつかり合いを国内試合で実践しない限り、国際大会で通用しないと再確認した。日本ハンドボール協

会審判部と日本リーグに参加しているチームと連携を図り、レフェリングのあり方を考える必要があると痛感した。

誤解を招いてはいけないので国際大会を戦う為には、日本リーグの中で改革していく必要性を私自身が感じた一つであることをご理解いただきたい。

日本リーグのメンバーであるオムロンも、日本がオリンピックに出場できるよう、たゆまぬチーム強化を図ると共に日本リーグを今以上に活性化するように大いに貢献せねばと今大会を通じ感じた。

大会参加にあたりご尽力いただきました、関係各位に厚く御礼申し上げます。

第10回東アジアクラブ選手権について

オムロンヘッドコーチ 黄 慶泳

■大会の準備について

日本リーグのプレーオフが終わってから1ヶ月後の大会参加で、メンタル・フィジカル面を維持・強化するのは非常に厳しい部分もあったように思います。しかし、日本を代表するクラブチームとして戦う意味とプライドをかけた戦いをすることを選手たちと確認して大会に挑むことができたと思います。準備期間の中で先ず韓国に対してはスピードを持った個人技、中国に対しては高さやパワーをどう対抗するかポイントをおいて戦術を考えました。

■試合について

第1戦(敗) 対 Incheon (韓国) 22 (11-11、11-12) 23

積極的なディフェンスからリズムを掴み、No.8石立のカットインやNo.7藤井のロングシュートなどで得点し、10分過ぎまでに5対3とリードする。相手のミスから速攻やディフ

エンスの裏を使ったポストプレーで加点し、さらにリードを広げる。その後、相手のゴールキーパーに阻まれ得点が伸びず、その間にロングシュートやポストシュートで失点し11対11で前半を折り返す。

後半に入り、相手の退場を機にミス誘いディフェンスから速攻で2連取しそのまま抜け出すと思われたが、中盤以降退場者が出て相手に主導権を握られ、残り3分を切って22対23と逆転を許す。ラスト10秒、同点を狙っての攻撃はパスが繋がらず、1点差で惜敗した。試合マネジメントの大切さを改めて感じた試合であった。

第2戦(勝) 対 Anhui (中国) 28 (16-13、12-12) 25

前半立ち上がりから積極的な守りから速攻に繋げたいところであったが、逆にPVにボールを集められて失点が続く中で足が動かない悪い展開であった。藤井のロングや松本と澤田のサイドシュート、石立のカットインで対抗しながら我慢の戦いが続く中で、相手の退場を機にリードを奪い前半を3点リードで折り返す。

後半も藤井のロングシュートと松本・澤田の速攻、また金のポストシュート等の加点と相手の退場も重なって一気に突き放してゲームを決める。終盤に相手に押し込まれる場面もあったが、そのまま逃げ切り3点差の勝利となった。

大きな相手との戦いで空間の使い方、大きいGKに対するシュートの打ち方、守りの感覚はやはりいつもと違うずれがあった。試合のイメージを持つことも大事だが、常日頃大きい相手に実戦での体験は大事であると改めて感じた試合でもあった。

第3戦(敗) 対 Samcheok (韓国) 20 (9-11、11-12) 23

前半立ち上がりから攻撃的な守りから攻撃の動きの制限をさせる意図でスタートしたが、裏のスペースでの失点が増えて攻撃まで良いリズムで繋げない展開が続いた。その中で藤井のロングと松本の速攻等で対抗して我慢の戦いが強いられ、前半を2点差で折り返す。

後半はコートサイドが変わってより走る展開をして逆転勝ちをするイメージを持ったが、速攻の展開の中で判断ミス、パスミスが続いてリズムに乗れない。藤井・東濱のロングシュートと澤田のサイドシュートで終盤残り3分で1点差まで追いつけたが、作戦タイム後の攻撃で点が取れず連続失点が続いて万事休すとなった。

今日の試合もロースコアには持っていたが、得点が伸びず勝ちきれない課題が残った試合であった。

■今後について

今回の第10回東アジアクラブ選手権では3位で終わる悔しい結果となりました。

しかし、韓国の個人技と基本戦術の中で激しいコンタクトプレーを伴う攻防戦を徹底する戦い方を目の当りにして、基

本の大切さと戦う姿勢を改めて感じました。

また中国の高さとテクニックを兼備したプレーにはアジア情勢の中で大きな危機感を覚えつつ、対処方法には大変勉強になった大会であったと思います。

今シーズンの日程は全て終わりましたが、新しいシーズンに向けてここで得た貴重な経験を糧に、より進化するオムロンチームを目指して努力してまいりたいと思います。

最後になりますが、大会参加に当たりまして多方面からご尽力頂きました各関係者の皆様方には、心からお礼申し上げます。まして大会のご報告といたします。

本当にありがとうございました。

第10回東アジアクラブ選手権に出場して

オムロンキャプテン 藤井 紫緒

4月5日から7日まで韓国で東アジアハンドボールクラブ選手権大会が行われ、韓国から2チーム、日本、中国から1チームの計4チームでリーグ戦を行いました。

1試合目は韓国の仁川との対戦、最初固さがありましたが、徐々にペースを掴みリードするもののミスを連続し前半は同点。後半に入り、またもリードをするが自分たちのミスから相手に点を許し22対23で初戦を落としました。

2試合目は中国の安徽省との対戦。相手の高さやパワーに押され立ち上がりから警告が多くリードされる場面もありましたが、前半の終盤で相手の退場を誘い、その時間帯に点数を重ねリードして折り返しました。後半もミスはあったもののそのリードを守り抜き、28対25で優勝への望みを繋ぎました。

3試合目は三陟との対戦、スタートからお互いディフェンスが機能し前半はロースコアの展開となりました。後半、ミスが目立ち出し相手に4点差をつけられるが、相手に退場者が出ている間に追いつく展開となりました。しかし焦りからミスを連続し20対23で敗戦となり、3位という結果に終わりました。

今大会は、ミスが多く勝っていった試合を自分たちで落とす形になり、オムロンの強さであるディフェンスをする前に速攻で得点を重ねられている展開ばかりでした。また、韓国両チームの個人技のレベルの高さを実感しました。それに勝るチーム戦術や組織で一点を取り、一点を守る強さを身につけなければいけないと感じました。海外のチームと試合をすることで自分たちの課題や不足点を再確認するとともに、違ったハンドボールスタイルを学ぶことが出来、今シーズンのチーム作りに活かしていくことを心に誓い大会を終えました。

今大会を始め、2012年度のシーズンを通して1年間応援して下さった皆様には大変感謝しております。また、運営など私たちをサポートして下さった皆様にも重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。



会場のSKオリンピックハンドボール体育館内のモニュメント



新たな JAPAN のユニフォームでの初試合となった韓国戦



会場は、まさにアウェー一色、会場全体を巻き込んだ演出には韓国のこの試合に賭ける力の入れようを痛感する。5000名収容の会場は、ほぼ満員の観衆が集う。



ベンチの清水監督、野村コーチ：リオに向かって新生男子 JAPAN は動き出した



おいしさを笑顔に

KIRIN



ストップ！未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。
妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。

www.kirin.co.jp キリンビール株式会社

日本代表男子 24 (10-14、14-15) 29 韓国代表男子

[個人得点] 小澤：8点、高智・信太：5点、石戸：4点、地引：2点

日本代表女子 23 (12-11、11-15) 26 韓国代表女子

[個人得点] 東濱：5点、高橋・上町：4点、横嶋・藤井：3点、錦織・石立：2点



女子も新たな JAPAN のユニフォームで登場



試合前の記念写真



ベンチ前で最終ミーティング



ベンチから指示を出す栗山監督と小藪コーチ：リオに向かって感触を掴めたか



2013 KOREA JAPAN HANDBALL SUPER MATCH									
KOREA					JAPAN				
No.	Name	Goal	W		No.	Name	Goal	W	
1	S.H. KIM	2	1		1	HIDA			
2	B.Y. JEONG				2	MASUDA			
3	H.J. LEE				3	TAKAHASHI			
4	E.J. JANG				4	KAMIMACHI			
5	J.S. KIM				5	INABA			
6	S.P. WON				6	NISHIKIORI			
7	H.K. YOON				7	YOKOSHIMA			
8	M.R. PARK				8	FUJII			
9	H.J. YOO				9	YAMANE			
10	J.Y. KIM				10	AKAWA			
11	S.M. CHOI				11	GOTO			
12	M.Y. SONG				12	ARIHANA			
13	G.H. RYU				13	IKESAKA			
14	J.H. JUNG				14	ISHIYATE			
15	P.H. MOON				15	HARA			
16	T.E. SHIN				16	KAWAMURA			
17	H.N. GWON				17	NAGATA			
18	Y.C. LIM				18	KUBIYAMA			

館内の電光掲示板は素晴らしく見易い

*詳細は次号にて掲載いたします。



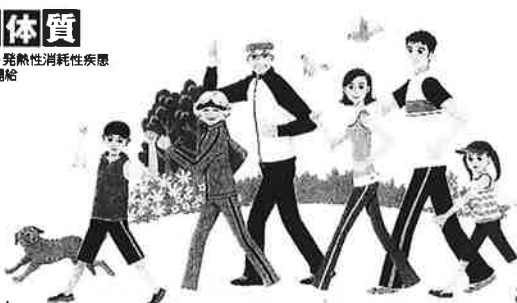
滋養強壯 虚弱体質

肉体疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠産後期などの場合の栄養補給

医薬品



医薬品



元気、やる気
笑顔、湧く。

Wakunaga 株式会社 http://www.wakunaga.co.jp

お取扱店のお問い合わせは ☎0120-39-0971
受付時間 月～金(祝日を除く)9:00～17:00(12:00～13:00を除く)

第1回 U-22 東アジア選手権

1st East Asian Handball Championship U-22

開催地：韓国 天安市（チョナン市）

会場名：Yu Gwan Soo Gymnasium

日時：2013年5月30日（木）～6月4日（火）

男子		KOR2	KOR1	JPN	TPE	CHN	MAC	数	勝-分-敗	得点	失点	差	点
1位	韓体大 (KOR2)		28○17	32○30	27△27	36○23	40○11	5	4-1-0	163	108	55	9
2位	慶熙大 (KOR1)	17●28		37○32	30○29	32○22	46○19	5	4-0-1	162	130	32	8
3位	日本 (JPN)	30●32	32●37		33○27	46○24	55○17	5	3-0-2	196	137	59	6
4位	台湾 (TPE)	27△27	29●30	27●33		37○19	33○19	5	2-1-2	153	128	25	5
5位	中国 (CHN)	23●36	22●32	24●46	19●37		39○20	5	1-0-4	127	171	-44	2
6位	マカオ (MAC)	11●40	19●46	17●55	19●33	20●39		5	0-0-5	86	213	-127	0

女子		KOR	JPN	CHN	TPE	HKG	数	勝-分-敗	得点	失点	差	点
1位	韓体大 (KOR)		27○24	34○20	36○20	41○5	4	4-0-0	138	69	69	8
2位	日本 (JPN)	24●27		27○24	32○12	42○13	4	3-0-1	125	76	49	6
3位	中国 (CHN)	20●34	24●27		28○24	35○16	4	2-0-2	107	101	6	4
4位	台湾 (TPE)	20●36	12●32	24●28		33○17	4	1-0-3	89	113	-24	2
5位	香港 (HKG)	5●41	13●42	16●35	17●33		4	0-0-4	51	151	-100	0

男子

5月30日（木）

日本 32 (17 - 18, 15 - 19) 37 慶熙大

【戦評】大会初日、地元学生を動員し、また、レフリーは韓国ペアの完全アウェー状態でのスローオフ。スタート日本は、石橋の速攻、元木のロングなどで主導権を握る。慶熙大もポスト・カットインなどで応戦する。中盤、韓国の3連続ゴールで11対12と逆転されるが日本も平子のカットイン、藤江のロングなどで粘り、前半、17対18と1点差で折り返す。

後半、杉本のサイド、元木・東江のカットインが決まるが、慶熙大も速攻・カットインなどで攻撃の手を緩めず20対24とされる。中盤から大事なシュートを決められず、ジワジワと離され27対32と5点差にリードを広げられてしまう。残りラスト5分でタイムアウト。メンバーをチェンジし、オールコートマンツースで応戦、堤の速攻、須坂のサイド、田中の速攻・サイドシュートなどで諦めず戦うが失点が止められず、32対37の5点差で終了。開幕戦を勝利で飾ることができなかった。

【個人得点】元木：11点、石橋：5点、杉本・平子：3点、堤・田中：2点、藤江・須坂・池辺・松本・柳・東江：1点

5月31日（金）

日本 33(17-12, 16-15)27 チャイニーズタイペイ(台湾)

【戦評】前日、韓国体育大学に引き分けている台湾との対戦。両チーム健闘を誓い、握手から始まるが、台湾が3秒オーバータイムを取られる反則。日本ボールになるも松井監督の指示で台湾にボールを渡し、再度スローオフのような形から仕切り直す。スタート岩下の好セーブから杉本サイド、石橋速攻、元木のロングで5対3とリード。台湾も左利きの大型BPを起点に11対8と食い下がる。ラスト10分相手の足が止まったところを、東江速攻、田中の活躍により前半17対12で折り返す。

後半、藤江の速攻ロング、松本のポストなどで23対15と突き放す。また、相手が不正交代をして退場となり楽勝ムードのところ相手ベンチの抗議から15分近く中断。再開後、審判

の笛が変わりリズムが取れず26対21。日本は、一度落ち着き藤江カットイン、石橋速攻元木7Mなどで立て直す。最後は、最年少玉川のゴールでとどめをさし、大会初勝利を飾った。

【個人得点】元木：9点、石橋：7点、松本：5点、杉本：4点、藤江：3点、東江・田中：2点、玉川：1点

6月1日（土）

日本 55 (27 - 9, 28 - 8) 17 マカオ

【戦評】大会3日目、マカオとの対戦。スターティングメンバーを総入れ替えして、全員ハンドボールで臨んだ。左SP柳、左BP須坂、センター田中、右BP池辺、右SP堤、ポスト玉川、GK佐々木の布陣でスタート。スタートの固さからマークミスで先取点はマカオが奪う。日本は、佐々木セーブから須坂・柳・池辺の速攻が決まり9対2と一気にリードを広げる。マカオもポジションチェンジプレーから追いつがるが、日本は、玉川・田中の速攻で前半で息の根を止めた。

後半は、全員が出場し、55点を奪い快勝した。

【個人得点】池辺・玉川：8点、須坂・石橋・杉本：6点、柳・田中：5点、堤・東江：4点、元木・藤江・平子：1点

6月3日（月）

日本 46 (24 - 15, 22 - 9) 24 中国

【戦評】中国戦に向けて、DFはポストの守り、OFは横の2対2、FBは攻守のきりかえを重点的に実施した。スタート東江のフェイントから石橋のサイドシュートで先取点を奪う。中国もポストとロングで応戦する。しかし、日本は攻撃の手を緩めず、東江・元木のロング、杉本のサイド速攻、石橋・松本の速攻で12対4とする。終盤、中国もポストプレーで得点を奪うも加藤の好セーブから速攻を繰り出し、24対15で前半を折り返す。

後半スタート、ポストパスをカットし、元木ロング、石橋速攻、杉本のサイドシュートなどで32対18とする。交代した池辺・堤・玉川らの活躍により46対24と快勝した。

【個人得点】元木：11点、石橋・杉本：7点、玉川・東江：4点、藤江・池辺・堤：3点、平子：2点、須坂・松本：1点

6月4日(火)

日本 30 (16 - 19, 14 - 13) 32 韓国体育大学

【戦評】大会最終日、勝利して韓国体育大学の優勝を阻みたいところ、レフリーは、台湾ペアでスタート。日本は、元木の速攻、藤江・東江のポストシュートで攻撃、韓国は、DF中央からのカットイン・ロングなどで5対5と一進一退の攻防が続く。中盤から日本のミスが続く、その隙を韓国が確実にシュートを決め8対12と突き放しにかかるが、杉本・玉川・藤江の速攻で食らいつき16対19で前半終了。

後半、日本は岩下の好セーブがあるもパスミスやシュートミスで追いつくことができない。中盤からメンバーをフルチェンジして流れを変えようとするがシュートミスが続く、点差は変わらず韓国リード。ラスト10分切ったところでタイムアウト。スタートのメンバーに戻し、元木の会場を沸かせるゴールが続くも2点差でタイムアップの笛がなる。

レフリーは、問題なく、実力による敗戦であった。代表チームが単独の大学に負けたことを厳粛に受け止め、今後、日本代表として戦う姿勢を全面に出せるように強化していく。

【個人得点】元木：11点、杉本：5点、藤江・東江：3点、石橋・田中：2点、玉川・堤・平子：1点

女子

5月31日(金)

日本 32 (16 - 3, 16 - 9) 12 チャイニーズタイペイ(台湾)

【戦評】第1回U-22東アジア選手権大会初戦の相手は台湾。前半2分過ぎに松村の得点で先制すると、立ち上がりから日本のペースとなり、台湾の単調で強引なOFを日本DFは、機動力を活かし得点を許さない。7分過ぎに1点取られるが、日本の優位は変わらず19分過ぎ10対1としたところで台湾がタイムアウトを要求。タイム後も日本ペースは変わらず、16対3で前半を折り返す。

後半立ち上がり、相手のシュートミスから速攻につながり長尾が決め幸先よくスタートを切ると連続得点し、10分過ぎ21対4とする。しかし中盤集中力が切れ、連続失点をするなどリズムが取れない時間帯があったが、試合の大勢には影響なく結果32対12で勝利した。

【個人得点】長尾：5点、錦織・川村・松村・角南・多田：4点、原・松尾・深田：2点、佐々木：1点

6月1日(土)

日本 27 (15 - 13, 12 - 11) 24 中国

【戦評】第2戦の相手は中国。前半立ち上がりダブルポストで攻撃してくる中国に先制を許すが、松尾・松村の連続得点ですぐに逆転すると5分すぎ中国がタイムアウトを要求。タイム後、日本はOFミスが目立ち始めリズムがなかなか掴めず、8分過ぎ2対3と逆転を許す。しかし、角南の体を張ったOFで退場を立て続けに取り、一気に逆転すると13分6対3とする。ここで中国は2回目のタイムを要求。タイム後、互いに点の取り合いとなり、なかなか中国を引き離せない展開が続く。中国

は11番のロングを起点にポストを多用し始めると、ここから中国ペースとなり、徐々に点差を詰められ前半を15対13で折り返す。

後半、日本はDFの修正がはかれず真ん中を崩され、2分15対15と追いつかれる。ここから一進一退の攻防が続く、15分過ぎ20対21と中国にリードを許した場面で、日本はタイムアウトを要求。タイム後1点差の展開が続いたが、20分過ぎ23対23の場面から日本のペースとなり、連続得点を奪い28分26対23とする。終盤は1点ずつ奪い、27対24で終了。

【個人得点】川村・角南：5点、松尾：4点、錦織・松村・長尾：3点、深田：2点、佐々木・多田：1点

6月3日(月)

日本 42 (21 - 6, 21 - 7) 13 香港

【戦評】第3戦は香港との対戦。日本はスタートメンバーを大きく変更して挑む。前半立ち上がり、DFスタートの日本は相手の単調なOFを守りきれず失点を許してしまう場面があったが、徐々に対応しだすと速攻につなげ点差を広げ10分過ぎ7対3とする。中盤、なかなか点が伸びない中、15分9対4となったところで香港がタイムアウトを要求。タイム後、日本の優位は変わらず点差をなし前半を21対6で折り返す。

後半、DFの安定しない日本は連携ミスから失点してしまいリズムにのれない。しかし香港DFも日本のOF陣を止めきれずさらに点差がつき始める。9分26対9となり香港がタイムアウト。タイム後も日本ペースは変わらず結果42対13で終了。

【個人得点】原：11点、多田・森本：7点、佐々木：5点、深田：4点、林：3点、松村：2点、錦織・松尾・長尾：1点

6月4日(火)

日本 24 (11 - 15, 13 - 12) 27 韓国体育大学

【戦評】前半、OFスタートの日本はミスから韓国に速攻で決められ先制点を許す。日本は韓国の早めに仕掛けてくるDFに対して、OFでのリズムを狂わされ韓国ペースの展開となる。9分2対6となったところで日本がタイムを要求。タイム後もなかなかペースが掴めない中韓国も決め手にかき4点差の展開続く。終盤日本はOFミスから連続得点を許し22分7対13とされたところでタイムを要求。タイム後は、韓国のミスを得点に結びつけ点差をつめ、前半を11対15で折り返す。

後半、日本DFが機能しだし韓国OF陣を止めるが、追い込んだシュートが前半同様決められリズムに乗れない。しかし、日本DF陣は足を止めずに果敢にプレッシャーを掛け続け9分16対18と2点差に追い上げる。ここから中盤まで2点・3点差の攻防が続く緊迫した展開が続く。しかし終盤にさしかかるころ連続得点を許し20分20対25となったところで3回目のタイム。追い上げたい日本だったが、終盤韓国OF陣はあわてることなく時間を使い24対27で終了。この大会2位という結果になった。なお、ベストセブンに角南・錦織が選出された。

【個人得点】原：7点、松村・角南：5点、長尾：3点、川村：2点、錦織・松尾：1点

※詳細は次号にて掲載いたします。

第5回男子ユース世界選手権（ハンガリー）の組合わせ抽選決まる



ユース世界選手権は、2005年に男子第1回、2006年に女子第1回が始まった最も新しい世界選手権である。国際ハンドボール連盟の主催によるもので男子19才以下、女子18才以下が資格となる。西暦奇数年に男子、偶数年に女子が行なわれ、男子参加国数は前回の20カ国から24カ国に増えた。過去4回の大会成績は、以下の通りである。

年	主催国	金メダル	銀メダル	銅メダル
2005	カタール	セルビア・モンテネグロ	韓国	クロアチア
2007	バーレーン	デンマーク	クロアチア	スウェーデン
2009	チュニジア	クロアチア	アイスランド	スウェーデン
2011	アルゼンチン	デンマーク	スペイン	スウェーデン

過去アジアからの参加国と成績は、以下の通りである。

	2005	2007	2009	2011	2013 (今回)	参加回数
バーレーン		8位		17位		2
イラン	8位	12位	10位			3
日本					○	初
クウェート			19位			1
カタール	5位	10位	13位	15位	○	5
韓国	2位	11位		11位	○	4

日本は、2012年9月6日（木）－9月15日（土）バーレーンにて開催の《第5回男子ユースアジア選手権》において見事準優勝を果たし世界選手権への出場権を得た。

〈最終順位〉

優勝：カタール 準優勝：日本 3位：韓国 4位：バーレーン 5位：サウジアラビア 6位：イラク 7位：シリア 8位：イラン 9位：クウェート 10位：チャイニーズタイペイ 11位：ウズベキスタン 12位：オマーン

第5回男子ユース世界選手権参加の24チームの抽選は、ハンガリーの会場都市ブダオロスシティホールで木曜日（2013年5月23日）に実施された。大会は、ハンガリーのブダオロスとエールドで8月9日から23日まで開催される。

組・都市	1	2	3	4	5	6
Aグループ Budaors	デンマーク (DEN)	エジプト (EGY)	ベラルーシ (BLR)	日本 (JPN)	セルビア (SRB)	チリ (CHI)
Bグループ Budaors	スウェーデン (SWE)	スロベニア (SLO)	カタール (QAT)	チュニジア (TUN)	韓国 (KOR)	ルーマニア (ROU)
Cグループ Erd	スペイン (ESP)	クロアチア (CRO)	アルゼンチン (ARG)	ブラジル (BRA)	アンゴラ (ANG)	フランス (FRA)
Dグループ Erd	ドイツ (GER)	オーストリア (AUT)	ハンガリー (HUN)	ノルウェー (NOR)	ベネズエラ (VEN)	ガボン (GAB)

各組上位4チームが決勝トーナメントへ、残りの8チームがプレジデントカップで17位から24位を争う。

大会抽選の様子
(IHF・HPより)



株式会社 **イスマ**
 本社/〒732-0828
 広島市南区京橋町2-22
 TEL(082)264-3211(代)

毎月1日・20日は
ゆめタウンデー

※一部専門店を除きます。

全館全品 **5倍** 値引
 ゆめカード
 値引積立額



ゆめタウン
 イスマ京橋町店
 関根 麻里

2020 オリンピック・パラリンピックの開催都市は、来る9月7日（土）開催のIOC125回総会（ブエノスアイレス・アルゼンチン）で決まります。この総会では、他にもレスリング、野球・ソフトボール、スカッシュの3競技から最後の一つの競技が決定され、更には会長選挙と重要な議題が多々あります。発表されたIOC総会の予定では、9月7日はイスタンブール、東京、マドリードの順に最終のプレゼンテーションが夫々45分間に亘り実施、終了後にIOC委員約100名（欧州選出委員が4割以上を占める）により投票が行われ夕方の17時には開催地が発表されます。翌8日には最後の競技種目1競技が決定、10日には会長選挙があり、総会は終了します。

（注）時間は何れも現地時間です。日本とブエノスアイレスとの時差は12時間です。日本の方が、12時間進んでいます。

支持率調査結果、77%に！（独自調査：前回73%+4%）

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会は、第6回東京2020オリンピック・パラリンピック招致支持率調査を実施、その結果を発表しました。（以下、東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会HPより抜粋）

調査主体	IOC 【参考】	招致委員会					IOC 【参考】	招致委員会 第6回
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回		
時期	2012 5/24 立候補都市 選定時公表	* 2012 7/14-22 ロンドン大会前 調査	* 2012 8/18-30 ロンドン大会後 調査	* 2012 10/10-22 調査	* 2012 11/22-12/2 調査	* 2013 1/10-20 立候補ファイル 提出後調査	2013 3/5 評価委員会 訪問時公表	* 2013 3/9-20 評価委員会 訪問後調査
賛成 (Support)	47%	58%	66%	67%	66%	73%	70%	77%
どちらでもない (No opinion)	30%	26%	20%	21%	20%	15%	—	14%
反対 (Against)	23%	16%	14%	13%	14%	12%	—	9%

【調査概要】

■調査方法：電話調査*IOCによる支持率調査を参考の上、招致委員会として独自に調査。

■実施時期：2013年3月9日（土）～20日（水）

■対象地域：東京23区、多摩地域・島しょ部

■調査対象：18歳以上男女（サンプル数：400）

■過去の調査結果との比較

■調査結果の解説：（ ）は前回調査結果

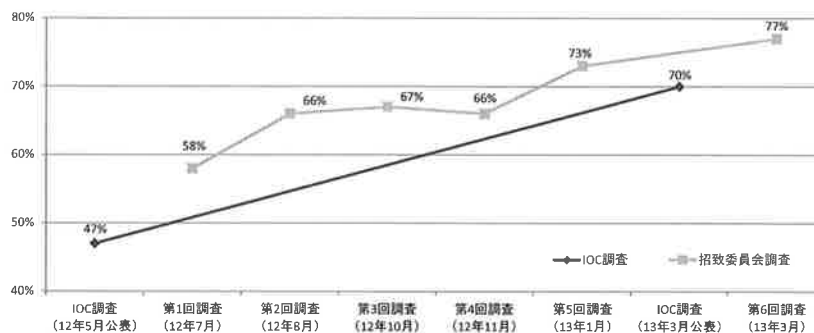
- ・今回調査では「賛成」の合計は、77%（73%）で前回実施した調査から4%増加し、前回調査からさらに支持率が上昇する結果となりました。
- ・「反対」合計は9%（12%）で3%減少となりました。
- ・「どちらともいえない」は、14%（15%）で1%微減となりました。

■調査結果に対するコメント

今回の結果について、東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会としては、3/4～7のIOC評価委員会視察を多くの報道に取り上げて頂いたことにより、大会を開催する実感が国民の皆様にもメッセージとして伝わり、招致活動への理解が深まったことが支持率向上へと繋がったと考えます。また、IOCの調査でも70%の支持を獲得したことが公表されたことにより、さらに招致気運が醸成されました。関係各位のご協力と国民の皆様からのご支援に心から感謝いたします。

今後は、各種国際会議におけるプレゼンテーション等や7月に行われるテクニカルブリーフィング、そして9月7日のファイナルプレゼンテーションに向けて、東京が目指すオリンピック・パラリンピックの魅力を一人数多くの方にご理解頂けるよう活動していきます。

オリンピック・パラリンピックを東京に招致することだけでなく、大会を開催し、成功に導くためには、国民の熱意と理解は必要不可欠です。東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会では、これからも国民の皆様と一体となった招致活動を様々な形で行って参ります。



～「リオ」へ続く道～

「新生」ニッポンが果たしてリオ・オリンピックへの道を切り開くか。球界はもとよりスポーツ界からも注目されている。現在のところは男子・清水、女子・栗山の新監督の手腕に期待を寄せるしかないが、一つの高いハードルとみられている韓国との定期戦が2年ぶりにソウルで行われた。

男子は年初のスペイン遠征以来、女子は年末のアジア選手権(インドネシア)に続く国際試合だった。ともに白星とはいかなかったが、スペインで、そしてインドネシアで体験した課題の克服、あるいはチームとしての習熟度を図る上でも貴重な戦いだった。

今シーズンは日本リーグ・プレーオフが終わるとすぐに始動したジャパン。清水監督は「個の力」の重要性を強調し、栗山監督は「考えるプレー」の浸透に狙いを絞ってきた。合宿での競り合いからどのようにレベルアップが図られたかが、問われる日韓戦でもあった。

今回のメンバーは男女とも6人の新しい顔を注入した。いわばフレッシュなイメージをアピール、チーム内の激しいバトルを期待しての起用でもあったのではないだろうか。

新しい戦力には、勝負への厳しさ、ゲームの駆け引きなど、国内では得られない貴重な体験ができたと思う。こうした貴重な財産は、代表活動だけに留めては進化はない。それぞれのチームに戻った時も、同じ考え、鍛練を継続していくことがさらなる個々のレベルアップ、代表の戦力の底上げにつながっていく。

企画・広報委員

早川 文司

フリースロー

Free Throw

今後、男女ともヒロシマ国際に出場し、ヨーロッパ遠征を予定。その後、男子は来年1月のアジア選手権(開催地未定)に向けて戦術などに磨きをかけ、女子は、年末の世界選手権(セルビア)に合わせ実戦を通してチーム力アップに取り組む予定という。

栗山監督が提唱する「考えるプレー」は、これまでも指摘されてきたが、ハンドボールだけではない。多くの競技関係者が指摘するテーマでもある。現代の若者に共通して言えることかもしれない。「言われたことをする」だけでは、たとえ成長しても進化の幅は限られることは明らかだ。

進行形のゲームの中では、場面々々の状況に応じてどう対応するかが勝負に対しての大きなキーワードではないかと思う。「やらされるプレー」から自ら考えて「やるプレー」が世界で戦うためにはとても重要なことである。

日本人としてのプライド、日本人の特性を生かした技術と頭脳をマッチングさせて、アジアでの頂点を目指したい。リオへの道はたやすくはないだろう。でも、それを乗り越えなくてはならない使命が代表だろう。



MIKASA

ミカサ独自のディンプル加工表皮素材を採用

グリップ性に優れ、

よりソフトな感触を実現したハンドボール

【検定球3号】男子用 一般 大学 高校

品番:HP3300 ￥5,355(本体価格￥5,100)

【検定球2号】女子用 一般 大学 高校、中学

品番:HP2200 ￥5,250(本体価格￥5,000)

株式会社 **ミカサ**
www.mikasasports.co.jp

第21回全日本マスターズ大会 in いわて花巻 でお会いしましょう♪

文責 岩手県協会 中島昭博

今夏8月2日～4日、岩手県花巻市において開催する第21回大会についてお知らせいたします。

大会の趣旨

「スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、人間の身体的・精神的な欲求にこたえる世界共通の人類の文化の一つである。心身の両面に影響を与える文化としてのスポーツは、明るく豊かで活力に満ちた地域社会の形成や、個々人の心身の健全な発達に必要不可欠なものである。」というスポーツ基本法の本質は、本年度で21回を迎える本大会がハンドボールを通して具現化しようとしてきた趣旨に合致するものである。これまでの歩みに自信と確信をもち、わが国のハンドボールの更なる発展と普及、ハンドボーラーのスポーツライフ充実を願って開催するものである。

また、「すべてを参加者の手作り」を基本理念とし、準備から運営までをすべて参加者でできるように最大限の努力をするものである。

今大会のトピックス

- ▶ “60歳以上部門”新設…特別ルール参照
- ▶ 11人制部門“第10回記念”…8月2日(金)11:00～11人制大会(天然芝フィールド)
- ▶ 台湾マスターズチーム参加…男:高崎市チーム、女:調整中
- ▶ 台湾小学生チーム来花…岩手県内スポーツ少年団と交流
- ▶ スポーツツーリズム…宮沢賢治記念館、世界遺産 平泉(中尊寺・毛越寺)、盛岡さんさ踊り、被災地復興応援など
- ▶ 2020開催地決定(9/7)直前オリンピズム…岩手出身 首藤信一さんほかオリンピックと子供達とのセッション
- ▶ 国体PR…2013東京、2014長崎、2015和歌山、2016岩手、2017愛媛、2018福井、2019茨城、…

今大会の概要

- (1) 日程
- 8月2日(金) 17:00～ 開会式・競技運営委員会
8月3日(土) 9:00～ ゲーム開始
19:00～ 懇親会
8月4日(日) 9:00～ ゲーム開始(競技終了後、閉会式)
- (2) 試合方式
- 参加するチームを4つの性格のグループに分類してゲームを実施する。
競技Ⅰ(交流型)、競技Ⅱ(順位決定型)、競技Ⅲ(男子60歳以上、女子50歳以上)、競技Ⅳ(11人制)
- (3) 参加申込
- 日本協会ホームページ参照
- (4) 大会本部
- 花巻市総合体育館 025-0066 花巻市松園町50 TEL 0198-23-1611 / FAX 23-1775
- (5) 競技場
- | | | | |
|--------------|----------|-------------|------------------|
| 花巻市総合体育館 | 025-0066 | 花巻市松園町50 | TEL 0198-23-1611 |
| 花巻市民体育館 | 025-0075 | 花巻市内1-43 | TEL 0198-23-5270 |
| 富士大学スポーツセンター | 025-8501 | 花巻市下根子450-3 | TEL 0198-23-0607 |
| まなび学園体育室 | 025-0075 | 花巻市花城町1-47 | TEL 0198-23-4234 |
| 日居城野陸上競技場 | 025-0066 | 花巻市松園町613 | TEL 0198-23-6150 |
- (6) 大会事務局
- 第21回全日本マスターズハンドボール大会 in いわて花巻事務局
高橋宏明 〒025-0076 岩手県花巻市内1-43 花巻市民体育館内
TEL・FAX 0198-24-0611 携帯Tel 090-3122-7414 e-mail m.hand.hanamaki@gmail.com
(職場) 花巻市役所スポーツ振興課 TEL 0198-24-2111 (内293)

今大会は、本来であれば、沖縄県開催の順番であったところを、日本協会及び沖縄県協会のご高配により、東日本大震災復興支援「とどげよう スポーツの力を東北へ!」として、平成16年(第12回大会)以来9年ぶりに、岩手県で開催させていただき運びと相成りました。

被災後、全国各地、海外からたくさんの励ましとご支援をいただいていたことへの感謝の念をもって、花巻市の支援をいただきながら、(公財)日本ハンドボール協会マスターズ専門委員会、岩手県ハンドボール協会、岩手県社会人ハンドボール連盟、花巻市ハンドボール協会の主幹担当者によって、愉快で意義のある大会となるよう鋭意運営準備を進めてまいりますので、どうぞ奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

国際ハンドボール連盟 における 6ヶ月間の研修 について

稲福貴史



私は日本ハンドボール協会の研修生として、国際ハンドボール連盟（以下、IHF）において6ヶ月間研修を行いました。本研修の目的は、国際大会運営や競技普及活動、IHF本部における各種業務内容について学ぶことでした。IHFにおいて研修を実施できたことにより、各種業務を通して各国連盟の取り組みやIHFとの連携活動などについて知る良い機会にもなりました。今回の研修で私が担当した業務内容や諸活動を通して気づいたことなどをご紹介します。

IHF における研修内容

IHF本部では事務局長を含め19人の職員が勤務しており、ファイナンス、マーケティング、メディア対応、各種国際大会、会議や講習会の手配、アンチ・ドーピング等の業務にあたっています。今回の研修で私が配属となったのは、ハンドボールの普及活動を主な業務とするスポーツ部門でした。この部門では4名の職員が勤務しており、ハンドボール発展途上国における各種普及活動に取り組んでいます。主な業務は「IHF Trophy」と呼ばれるハンドボール発展途上国を対象とした国際大会、「IHF the Four year plan」と呼ばれる4カ年の活動支援となります。

今回の研修で取り組んだ業務の大部分は、IHF TrophyとIHF the Four year planの2つの活動に関する資料作成でした。

まず1つ目のIHF Trophyについてご紹介いたします。IHF Trophyとは、ハンドボールが普及していない（競技力の低い）国々の若い選手（男性：20歳以下、女性：19歳以下）を対象としたIHF主催の国際大会です。公式試合を経験する機会の少ない選手に対して国際大会に参

加する機会を提供するとともに、他国の同年代の選手と友好を図る機会とされています。また、若手の指導者や審判員も合わせて招集し、大会期間中に講習会を実施しています。この大会はIHF主催による開催ですが、大会運営は参加国のいずれかの連盟が行うこととなっています。本大会は選手や指導者のみならず、各国連盟に国際大会の運営を経験する機会ともされています。

この取り組みにおけるIHFの業務としては、大会開催までの諸手続きを調整することです。まずは大会参加の呼びかけや運営国の打診を行います。その後、参加国及び選手一覧、大会会場等を記載した開催要項や対戦表を作成し、大会を運営する連盟へと提供します。私が担当することになったのは、選手や指導者の名簿、各国連盟の渡航日程等を記載した開催要項、対戦表や大会結果表の作成でした。開催要項や参加者一覧等の作成は、開催要項の記載項目に沿って各国連盟から提出された詳細を入力する単純な作業でした。対戦表の作成については、組み合わせの雛形に従い、グループ分けや組み合わせを私の判断で決めることができました。当然作成後はIHFの主担当者及び大会を運営する連盟に確認しますが、IHF公式試合の組み合わせを作成するという緊張する業務の1つでした。

もう1つの担当業務だったIHF the Four year planは、私がIHF本部で研修を始めた時期から本格的に取り組みが開始されました。このプログラムはハンドボール発展途上国へ4カ年の活動計画を提案するとともに、各種活動の支援を行う取り組みです。IHFから提案される活動計画には、IHF Trophyへの参加や国内における普及活動、指導者や審判員の講習会実施、助成金の支給や国際オリ

ピック委員会のプロジェクト参加等が盛り込まれています。このプログラムでは事業概要を記載したガイドライン及び、国内のハンドボールの現状（選手や指導者数等）や連盟の運営状態等に関する質問事項が記載された用紙を配布します。その回答内容を参考に各国連盟に合わせた計画案を作成します。この業務において、私はインド連盟へ提出する計画案の原案作成を担当しました。計画案は雛形に沿って競技人口や国内大会数、指導者数等を参考に作成し、IHF本部の担当者と協議し実施プログラムの追加や修正を行い、各連盟へと提出し更に精査します。その後、各国連盟からの要望を踏まえた上で最終的な計画書が完成となります。IHF four year planの活動はまだ始まったばかりで、現在は数カ国のみの実施となっており、今後徐々にIHF Trophy参加国等の計画案を作成する予定となっています。

この業務を通して、IHFのハンドボール途上国に対する普及活動の詳細を知ることができたとともに、複数の国のハンドボールの現状を確認する良い機会となりました。そして各種プログラムの中には日本国内でも実施できるような活動もあり、今回IHFから頂いたプログラムの資料や指導マニュアルは、日本協会の普及活動やハンドボール初心者に対する指導の参考にできるのではないかと思います。

上記のスポーツ部門における業務の他に、2013年スペインで開催された男子世界選手権のトレーニングスケジュール、オフィシャルや審判員一覧などを記載した資料の作成業務を担当しました。また、各国際大会の結果をまとめた冊子に試合結果やランキング等を追記する作業、オリンピックや世界選手権等に参加したチーム及び選手の大会参加回数の調査、国際審判員の国際大会参加歴一覧などの資料を作成しました。その他には、私の研修期間中にIHFムスタファ会長が訪日することとなり、ビザ取得や訪日日程の確認作業など、IHFと日本協会の連絡役を担当する機会もありました。

本研修でIHFにおける各種資料作成やIHF会長や役員の方の訪日に際する各種手続き等について学ぶことができたとともに、IHF職員の担当業務の詳細や本部における意思決定の過程について知るこ

とができました。また、研修業務の際に取得した各種国際大会資料や資料の雛形、IHF 役員や審判員の略歴等については、今後の日本協会の国際的活動に活用できるものだと思います。

研修を振り返って

今回の IHF における研修で改めて感じたことは、国際機関において勤務するには単に英語が話せるだけではなく、議論のできる英語力が必要だということです。意思疎通ができる程度の英語力ではなく、自らの意思や考えを正確に伝え他者を説得できる英語力がなければ、国際機関で活動するのは難しいと感じました。そして、英語の他にも一言語話せることが必要だと思いました。IHF は英語、ドイツ語、フランス語を公用語と定めています。IHF に勤務する方はフランス国籍やドイツ国籍の方が多数を占めており、日常会話も英語以外にドイツ語やフランス語で行うことが多くありました。フランス語やドイツ語で会話が始まる度に、どちらかの言語を読み聴きできるようになるだけで得る事の出来る情報量が違うと感じました。今後は英語力を

鍛えることはもちろん、新たな言語を学習したいと思います。

フランス語やドイツ語を話せるようになることが必要だと感じたとともに、会話の内容や知識についても考えさせられることが多くありました。異なる国籍・アイデンティティを持つ人々のなかで、自国の政治や経済、人々の暮らしについて質問された際、論理的に説明をすることが求められました。また、欧米の文化を知らなければ話に入っていけないことも多々ありました。彼らは自国や欧州の政治・経済・文化に関することはもちろん、中東やアジア、南米など、幅広い知識を持ち積極的に主張してきます。ある職員に伺ったところ、「国際機関に勤務しているので、欧州に関することはもちろんだが、その他の大陸に関しても意識して情報収集をするようにしている」と話していました。

6ヶ月という短い期間ではありましたが、業務内容に関することはもちろん、国際社会で活動するために求められる要素など、学べたことは非常に多くありました。今回の IHF における研修では、日本人がハンドボールの国際社会で活躍

するには、ネイティブ並みの英語力で、欧米の人々と対等に会話や議論のできる知識と国際感覚が必要だと強く感じました。今後は今回学んだことを生かせるよう、そして英語力を鍛え国際感覚を養えるよう日々精進していきたいと思えます。

最後に、今回 IHF における研修という非常に貴重な機会を頂けたことを深謝いたします。



平成 25 年 5 月 15 日

各ブロック協会理事長 殿
各連盟理事長 殿
各都道府県協会理事長 殿
各加盟団体競技運営担当者 殿
各登録チーム責任者 殿

(公財) 日本ハンドボール協会
会長 渡邊 佳英

ゴール等競技用具の安全管理について (通知)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本協会の競技運営に格別のご尽力を賜りましてありがとうございます。

さて、テレビニュース、新聞等で、5月12日に東京都内の中学校グラウンドでハンドボールゴールが倒れて小学校2年生の女子がその下敷きになり、意識不明の重体となっているという報道がありました。非常に痛ましい事故であり、あってはならないことです。

ハンドボールゴールの事故であり、管理をキチンとしていれば未然に防げた事故かと思えます。つきましては、以前にもお願いいたしましたが、ゴールによる事故防止策については、関係方面において十分に周知徹底されますよう、一層のご配慮を賜り、関係方面にご連絡いただくようお願い申し上げます。

敬具

記

ゴールを使用して競技をする場合、保管する場合、状況に合わせたそれぞれの方法により、事故防止のために、より一層の安全措置を講じ周知徹底すること。

例として、「ボルトで床と固定をする」、「グラウンドと基部の間に杭を打つ」、「横に寝かして管理する」、「前後部のバー及び上部の金属部にぶら下がらない指示を徹底する」、「ゴールネットで遊ばない」、「競技用具本来の使用の目的以外に利用しない」等の具体策を以て、ゴール等競技用具による事故が起こらないように安全対策の再確認をすること。

以上

平成 25 年度 第 16 回ハンドボール研究集会要項

テーマ 「ゴール型教材としてのハンドボール—その6—」

趣 旨 平成 20 年 3 月 28 日に改訂告示された小学校新学習指導要領では、5・6 年生のボール運動が現行の種目の列挙を改定して 3 つの型に分けられ、多彩な運動が選択できるようになった。すなわち、内容の取扱いの中で、「ゴール型はバスケットボール及びサッカーを、ネット型はソフトバレーボールを、ベースボール型はソフトボールを主として取り扱うものとするが、これらに替えてそれぞれの型に応じたハンドボールなどのその他のボール運動を指導することもできるもの」とされ、さらに「学校の実態に応じてベースボール型は取り扱わないことができる」とされた。すでにハンドボールについては、従前の指導要領の全面実施によって、多くの授業実践が報告されるようになってきた。そして今回の改訂までの間、ほぼ 10 年間に渡る学校体育ハンドボール検討委員会の活動の成果として、ハンドボールは子どもたちの投能力を中心とした体力・運動能力の向上に適していることに加えて、他のボール運動より教材づくりや戦術学習が容易であること。さらに、小学 1 年生から 6 年生までの児童にとって取り組みやすく、楽しくできることなど、独自の諸特性をもっていることが明らかにされている。従って今回の改訂を受け、走・跳・投のバランスのとれたハンドボールの教材としての価値をさらにアピールしていくとともに、低・中学年のゲーム領域、及び中学校の球技との関連性を考慮した一貫指導体系を確立していかなければならないという必要性に迫られている。そこで本研究集会では、ハンドボールの魅力や諸特性に対してさらに認識を深めると同時に、子どもたちの発育・発達に見合ったゴール型教材としてのハンドボールの指導体系の構築を目指した内容について研修する。

主 催 公益財団法人 日本ハンドボール協会

主 管 愛媛県ハンドボール協会

後 援 文部科学省 愛媛県教育委員会（申請中）
松山市教育委員会（申請中）

対 象 小学校、中学校及び高等学校教諭。教員養成大学学生、
大学院生及び教員。地域スポーツ指導者。
日本ハンドボール協会 J 級指導員等。

会 期 平成 25 年 7 月 30 日（火）～ 31 日（水）

会 場 松山市青少年センター
〒 790-0864 松山市築山町 12-33
TEL 089-907-7826 FAX 089-907-7827
松山市立たちばな小学校
〒 790-0055 松山市針田町 209 番地 1
TEL 089-971-8410 FAX 089-971-9907

日 程

7 月 30 日（火）

受 付 12:00～12:30（松山市青少年センター）

開会式 12:30～12:50

講 演 12:50～13:50

講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター
研究開発部教育課程調査官（併）文部科学
省教科調査官 石川泰成

研究発表 14:00～15:10

実技研修 15:40～17:10

講師 筑波大学体育系助教・男子ハンドボール部
コーチ ネメシュ・ローランド

交流会 18:00～20:00

7 月 31 日（水）

受 付 8:30～9:00（松山市立たちばな小学校）

授業提案 9:00～11:00

松山市立たちばな小学校
6 年「ハンドボール」授業
質疑応答・討論会

講 義 11:00～12:00

講師 神戸親和女子大学学長 三木四郎

閉会式 12:00～12:15

学校体育ハンドボール検討専門委員会事務局

〒 010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1

秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育講座 佐藤 靖気付

TEL & FAX 018-889-2577

E-mail: yasushi@ed.akita-u.ac.jp

大会事務局

〒 790-8521 愛媛県立松山東高等学校内

愛媛県ハンドボール協会事務局 田村敏明

TEL 089-943-0187 FAX 089-934-5766（松山東高等学校）

TEL 090-5918-5803（携帯）E-mail: tamura-toshi@esnet.ed.jp

参加費 4,000 円（学生、大学院生 2,000 円。資料代、及び保険料込み。当日受付にて徴収いたします。）

参加申込 参加を希望される方は、①氏名 ②年齢 ③勤務先
④連絡先住所・電話番号 ⑤交流会参加の有無を明記の上（書式自由）、ハガキ、ファックス、または E メールにて大会事務局までお申し込み下さい。

1) 締切り日：特に設けません。当日も受け付けます。

2) 派遣書が必要な場合は、その旨ご記入下さい。

発表申込 研究集会のテーマに関係する研究、及び実践報告を募集します。発表を希望される方は、大会事務局、または専門委員会事務局まで直接ご連絡下さい。

1) 口頭発表・質疑時間：発表時間は、質疑応答時間を含め、一演題につき約 12 分です。発表時間は演題数により変更することもあります。

2) 発表にはビデオ、パワーポイントまたは資料等を使うことができます。資料を配布される方は、100 部程度ご用意下さい。

3) 締切り日：平成 25 年 7 月 19 日（金）

尚、資料の送付を希望される方は、期限までに大会事務局までご郵送下さい。その他、発表に関してご不明な点は、大会事務局までお問い合わせ下さい。

宿 泊 宿泊を希望される方は、7 月 19 日（金）までに下記連絡先までお申し込み下さい。交流会会場の東急インホテル（松山市一番町 3-3-1）を主とした松山市内のホテル（一泊朝食付き）6,000～9,000 円でご案内いたします。

連絡先：株式会社 漣観光社 井門

TEL 089-932-3373 FAX 089-932-3375

平成25年度授業実践推進制度に基づく授業実践者募集要項 「小学校体育科授業におけるゴール型ハンドボール教材の展開について」

1 趣旨

小学校におけるゴール型教材としてのハンドボールの課題について、総合的に授業実践を行ない、体育科授業の充実を図るとともに、ハンドボールの普及を図る。

2 授業実践内容

(1) 授業実践のテーマは次のとおりとする。

- ア 児童の体力(投能力)の向上に関する取組の在り方と進め方。
- イ 簡易ゲーム(タスクゲーム等)の工夫とその指導の在り方。
- ウ ゴール型教材としてのハンドボールの指導体系の在り方。
- エ その他

(2) 授業実践者は、「ゴール型ボール運動」、もしくは「ゴール型ゲーム」でハンドボールを取り上げ、上記の内容から二つ以上のテーマを選び、その一つを主テーマとして、授業実践を進めることとする。

3 授業実践期間

おおむね2年間とする

4 対象授業実践者

各都道府県協会より推薦された教員の中から8名程度選出する。選出は(公財)日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討専門委員会で行なう。

5 授業実践に当たって

(1) 授業実践者は、校内における授業体制を整備し、必要に応じて家庭や地域との連携も図りながら、計画的、継続的に授業実践を推進する。

(2) 授業実践者は、(公財)日本ハンドボール協会、都道府県ハンドボール協会(市町村ハンドボール協会)の助言の下に授業実践を推進すること。

(3) 授業実践者は、第1年次には授業実践の中間報告書を、また授業実践期間の終了時には授業実践成果報告書を、都道府県協会を経由して日本協会に提出すること。

(4) 日本協会は、必要に応じて授業実践者および都道府県協会と連絡を取り、授業実践の推進について意見および情報の交換を行なう。

6 経費

日本協会は、授業実践の委託費として予算の範囲内で支出委任する。委託費は、1年目が6万円、2年目が4万円とする。

7 その他

日本協会は、必要に応じて実施状況および経理処理状況について、実態調査を行なう。

8 締切

第一次締切：平成25年7月19日(金)

9 申込、および問合せ先

ご不明な点は、以下にお問い合わせ下さい。

(公財)日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討委員会(代表 佐藤 靖)

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

秋田大学教育文化学部

スポーツ・健康教育講座 佐藤研究室

TEL/FAX:018-889-2577

E-mail:yasushi@ed.akita-u.ac.jp



堂々完結!!
明日のない空
Natsuko Haiyoshi presents
堀内夏子 全3巻
大好評発売中!
青春と涙のハンドボール群像劇!!
定価/各550円(税込) 発行/小学館
インターネットでも買える! <http://comics.shogakukan.co.jp/> 書店でご希望の発行本が見つからない場合は、お手数ですが店頭でご注文ください。お問い合わせ先—お客様相談センター—TEL.03-5281-3556

2013年度 全国大会レフェリー名簿

(平成25年5月15日) 第1版

大会	開催地	期 日	審 判 員 氏 名
第3回 社会人選手権 (8ペア)	山口県 周南市	7月3日 ～ 7月7日	◎吉田敏明 ○大熨嘉彦 池淵智一・檜崎 潔 (協会指名) 小川至門・内記 徹 (協会指名) 岡田雅央・藤本靖雄 (開催県) 黒木龍二・黒木秀吾 (協会指名) 北山力也・貝田良寛 (兵庫) 松本光則・南川裕隆 (愛知・社会人) 浦川寿生・石崎章弘 (協会指名) 堀江成典・東野流生 (東京) 山口 修・東 慶一 (高知・山口・社会人)
第26回 全国小学生大会 (4ペア)	京都府 京田辺市	8月1日 ～ 8月4日	◎岡辺清和 ○川勝裕義 岡村敏行・濱口雄飛 (兵庫) 手塚 勝・西田豊三 (福井) 川田貢二子・東サヤカ (和歌山) 松本光則・南川裕隆 (愛知)
第64回 全国高校総体 (24ペア)	佐賀県 神崎市 小城市 武雄市 基山市	7月30日 ～ 8月4日	◎武智 誠治○ 本田昭太・田淵元雄 (協会指名) 市丸成彦・谷藤 航 (岩手) 富田 拓・野平健二郎 (茨城・埼玉) 木下豪人・竹ノ下晴彦 (和歌山) 野島祥之・石原秀和 (岡山) 山地 翔・川内健矢 (香川) 林 奈緒美・貞包圭介 (佐賀) 関東ブロックから 高橋恭文・塚本 光 (協会指名) 土橋邦彦・清水啓佑 (長野) 山下祐樹・古川英樹 (岐阜) 駒谷研志・波多野祐介 (兵庫) 山本 淳・山本孝志 (鳥根) 田中 愛・白石 智子 (愛媛) 鶴田祐一郎・近藤晋一 (熊本) 次々年度開催地 (大阪) から 小田健介・鈴木孝明 (北海道) 志々場祐太・城戸佑太 (福井) 各務宗孝・森 裕太 (岐阜) 白川裕隆・水津研二 (山口) 小川昌志・天野誠司 (徳島) 神田史朗・岩永東祐 (鹿児島) 亀井一寿・堀川智宏 (大分) 亀川政文・権藤洋文 (開催県)
第18回 ジャパン オープン (12ペア)	長崎県 佐世保市	8月11日 ～ 8月14日	◎藤井俊朗 ○島村浩信 ○金子弘明 浦川寿生・石崎章弘 (協会指名) 得居秀匡・村上 隆 (東京) 川崎 尚・飯島浩太 (山口) 上杉洋一・宮崎和彦 (大分) 大熨嘉彦・山本篤洋 (協会指名) 新井友彦・中嶋 秀 (兵庫) 岡田雅央・藤本靖雄 (山口) 黒島直人・金城勇人 (沖縄) 亀山耕司・水谷省一 (北海道) 藤本貴啓・鳥羽 勇 (大阪) 宮崎光一・大崎 祥弘 (高知) 木下豪人・竹ノ下晴彦 (和歌山)
第42回 全国中学校 (9ペア)	愛知県 豊田市	8月20日 ～ 8月23日	◎齊藤仁宏 ○坪井雅典 本田昭太・田淵元雄 (協会指名) 羽角健二・松尾茂雄 (埼玉) 寺内啓之・細川泰輔 (大阪) 小澤邦紀・越智康裕 (福島) 水野 遼・山田祐輔 (愛知) 岡村敏行・濱口雄飛 (兵庫) 桶家秀介・魚川友康 (富山) 下屋幸比古・畑中寛之 (岐阜) 作道 勉・田鍋由朗 (愛媛・次期開催県)
第68回 国民体育大会 (18ペア)	東京都 新宿区 墨田区 品川区 多摩市 武蔵村山市	10月3日 ～ 10月7日	◎藤井俊朗 ○浜田浩和 ○高島幸嗣 島尻真理子・太田智子 (協会指名) 比留間 康・北嶋 浩 (協会指名) 野地敏雄・小俣宏之 (福島) 高橋恭文・塚本 光 (東京) 北山力也・貝田良寛 (兵庫) 蟻川武司・瀬良研一 (愛媛) 安田 寛・永春文義 (協会指名) 高橋容平・磯部尚志 (北海道) 仲野和也・藤坂明雄 (福井) 貝沼圭吾・須原幸一 (三重) 近畿ブロックから 川端祐貴・今泉暢禎 (福岡) 大熨嘉彦・山本篤洋 (協会指名) 荒尾祐治・桜庭正明 (青森) 高橋 智・石橋正行 (埼玉) 片山 聡・大岩広人 (静岡) 國澤 隆・指野 緑 (岡山) 青木忠久・原口佳也 (長崎・次期開催県)
男子第55回 女子第48回 全日本学生 (3ペア+11)	山梨県 甲府市 山梨市	11月23日 ～ 11月27日	◎高野 修 ○ 河合威廷・白井 健 (協会指名) 各地区学連より選出 *各ブロック学生連盟からの推薦を参考に調整。 黒木龍二・黒木秀吾 (協会指名) 坂本晴昭・平塚亮介 (山梨・開催県) 小川至門・内記 徹 (協会指名)
第65回 全日本総合 (8ペア)	愛知県 名古屋市	12月24日 ～ 12月28日	◎藤井俊朗 ○仲田 稔 ○浜田浩和 ○坪井雅典 日本協会競技本部で選出
第22回 JOCカップ (14ペア)	福島県 福島市	12月24日 ～ 12月27日	◎齊藤仁宏 ○中館 豊 日本協会指名1ペア(総合決定次第) 岩角聖孝・上飯坂 徹 (岩手) 田村裕志・川江俊樹 (石川) 軒田隼人・栗田基秀 (静岡) 河野翔保・小笠原龍太 (愛媛) 合田享弘・橋本 賢 (北海道) 渡辺英治・伊藤 奨 (山形) 得居秀匡・村上 隆 (東京) 吉田 健・岡野哲裕 (京都) 前上里亘・知念昌平 (沖縄) 村杉善之・飯塚敏章 (福島) 大石克哉・桜打佳浩 (富山) 戸塚幸廣・勅使河原誠 (群馬) 森山 透・馬場智也 (広島)
第9回 春の中学大会 (18ペア)	富山県 水見市	3月25日 ～ 3月29日	◎藤井 俊朗 ○岩上浩一郎 河合威廷・白井 健 (協会指名) 佐々木充宏・高階和也 (秋田) 土橋邦彦・清水啓佑 (長野) 山口悠歩・金井匡司 (群馬) 若森紗羅良・岩井友美 (岐阜) 新井友彦・中嶋 秀 (兵庫) 油上 智・中村行志 (協会指名) 森 義久・中川英明 (富山) 佐藤卓也・園谷健志 (福井) 中田 隆・野中 毅 (栃木) 山下祐樹・古川英樹 (岐阜) 竹安未央・浜田倫暢 (鳥取) 古賀直哉・荒井啓貴 (宮城) 小岩井浩明・森山海里 (長野) 沢崎亮太・阿部 哲 (千葉) 伊東史裕・菅原圭悟 (神奈川) 飯田一郎・早瀬 司 (滋賀) 弘田睦仁・浜田哲雄 (高知)
第37回 全国高校選抜 (18ペア)	愛知県 豊田市 岡崎市	3月25日 ～ 3月30日	◎武智 誠治○ 安田 寛・永春文義 (協会指名) 辺 輝哲・工藤和貴 (岩手) 堀江成典・東野流生 (東京) 深見忠司・伊藤誠祐 (愛知) 渡邊輝昭・板垣貴幸 (愛知) 浅野幹也・森貴岳史 (愛媛) 比留間 康・北嶋 浩 (協会指名) 金坂英宣・東出拓也 (石川) 高橋 智・和久長義 (埼玉) 近藤 悟・吉田博紀 (静岡) 駒谷研志・波多野祐介 (兵庫) 海江田貴嗣・積 芳広 (鹿児島) 合田享弘・橋本 賢 (北海道) 徳光明博・塩野利明 (石川) 青木 暁・田淵 舞 (神奈川) 田中孝一・千種直也 (三重) 前田隆志・北羅雅士 (大阪) 大谷浩司・杉浦知雄 (愛知)

◎：審判長 ○：副審判長

公認審判員 A・B 級審査会とレフェリーコースの開催について

(公財) 日本ハンドボール協会 審判部 審査指導専門委員会 委員長 越田 義昭

平成 25 年度 (公財) 日本ハンドボール協会 (以下 J.H.A.) 公認審判員 A・B 級審査会とレフェリーコース、ならびに社会人連盟レフェリーコースの開催にあたり、日程と審査内容をお知らせします。

今年度は同 A・B 級審査会の開催方法を変更しました。例年、A 級審査会は年に 1 回の開催であったため、書類審査に合格しているにもかかわらず、公務の都合でどうしても審査会に出席できない受験者が数名いました。そこで、実力のある審判員がひとりでも多く A 級資格を取得できるよう、受験の機会を増やして全国 3 会場 (全国クラブハンドボール選手権大会東地区、中地区、西地区の 3 大会) で開催することにしました。B 級審査会については、上記 3 大会で A 級審査会と合同で実施し、さらに関東地区で 1 会場を設けました。

受験に際して競技規則筆記試験と実技試験の準備を十分に行ってください。過去 3 年間の成績を振り返ると、筆記試験はすべて協会発行の競技規則問題集 (解答付き) から出題されているにもかかわらず、その成績は芳しくなく、勉強不足が感じられます (表を参照)。筆記試験はきちんと準備をすれば受験者全員が合格して当然だと考えています。実技試験に関しては、基本的な事柄 (立ち姿、走るコース、ジェスチャー) が身に付いていない受験者を毎年見受けます。事実判定では、段階的罰則の理解度が低く、攻撃側の違反について甘さが散見され、ナイスディフェンスすら見極められないケースも多く、真に残念に思います。プレーを正しく理解して競技規則を的確に適用できるよう、十分に研修を積んで受験に臨まれることを期待しています。

【J.H.A. 公認審判員 A・B 級審査会】

①東地区 A・B 級審査会

期 日：平成 25 年 7 月 19 日 (金) ～ 21 日 (日)
大会名：全国クラブハンドボール選手権大会東地区大会
会 場：福島県本宮市 本宮市総合体育館ほか

②中地区 A・B 級審査会

期 日：平成 25 年 7 月 19 日 (金) ～ 21 日 (日)
大会名：全国クラブハンドボール選手権大会中地区大会
会 場：大阪府大阪市 舞洲アリーナほか

③西地区 A・B 級審査会

期 日：平成 25 年 7 月 5 日 (金) ～ 7 日 (日)
大会名：全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会
会 場：鹿児島県始良市、霧島市 始良市始良体育館ほか

※上記①～③審査会の日程と審査内容について

審査初日 (金)

集合：東地区 14 時 30 分 本宮市総合体育館
中地区 17 時 30 分 ホテル「クライトン江坂」
西地区 15 時 00 分 始良市始良体育館

開講式と競技規則筆記試験：審判会議に出席した後に実施
西地区のみ A 級受験者体力試験 17 時より実施

審査 2 日目 (土)

実技試験：B 級、その後に A 級を実施
体力試験：実技試験の終了後、A 級受験者のみを対象に実施

B 級受験者は実技試験終了後、散会

審査 3 日目 (日)

実技試験：A 級のみ実施、終了後に閉講式、解散

④関東地区 B 級審査会

期 日：平成 25 年 6 月 21 日 (金) ～ 23 日 (日)

大会名：関東ハンドボール選手権大会

会 場：群馬県富岡市 富岡市民体育館他

※上記④審査会の日程と審査内容について

審査初日 (金)

集合：15 時 30 分 生涯学習センター

開講式と競技規則筆記試験：審判会議に出席した後に実施

審査 2 日目 (土) 実技試験

審査 3 日目 (日) 実技試験、終了後に閉講式、解散

【J.H.A. 主催レフェリーコース (前・後期)】

前期研修会

期 日：平成 25 年 8 月 12 日 (月) ～ 14 日 (水)

大会名：高校生ハンドボール長浜ドーム大会

会 場：滋賀県長浜市、彦根市

実技研修は長浜ドーム、講義と宿泊は彦根ステーションホテル

後期研修会

期 日：平成 26 年 3 月予定

会 場：京都府予定

今年度はさらに関西学生ハンドボール連盟の招致により、同連盟に所属する受験者を対象に同レフェリーコース (前期研修会のみ) を別途実施する。講師は J.H.A. 審判部審査指導専門委員会委員が務める。後期は上記の研修会と合同で実施する。

前期研修会

期 日：平成 25 年 9 月 21 日 (土) ～ 23 日 (祝)

大会名：関西学生ハンドボール秋季リーグ戦

会 場：京都府宇治市、田辺市

実技研修は京都府立山城総合運動公園太陽が丘体育館ほか、講義と宿泊は宇治第一ホテル

【J.H.A. 主催社会人連盟レフェリーコース】

期 日：平成 26 年 2 月 8 日 (土) ～ 9 日 (日)

大会名：全日本社会人ハンドボールチャレンジ 2014 大会

会 場：山口県周南市

実技研修・講義ともキリンビバレッジ周南総合スポーツセンター

表：過去 3 年間における J.H.A. 公認審判員 A・B 級審査会の合否結果

年度	級	受験者	合格者	不合格者	合格率	不合格者：競技規則試験/実技試験
H.22	A	36名	19名	17名	52.8%	4名/14名 (重複不合格1名)
	B	52名	35名	17名	67.3%	5名/13名 (重複不合格1名)
	計	88名	54名	34名	61.4%	9名/27名 (重複不合格2名)
H.23	A	22名	13名	9名	59.1%	2名/8名 (重複不合格1名)
	B	66名	40名	26名	60.6%	8名/20名 (重複不合格2名)
	計	88名	53名	35名	60.2%	10名/28名 (重複不合格3名)
H.24	A	25名	17名	8名	68.0%	1名/7名
	B	61名	35名	26名	57.4%	5名/21名
	計	86名	52名	34名	60.5%	6名/28名

日本ハンドボール協会 創立75周年記念誌

刊
行

日本ハンドボール協会は、平成25年2月2日をもって、協会創立75周年、4分の3世紀の節目を迎えました。これを記念して、日本協会では幾つかの事業を展開してまいりました。その中のひとつが創立75周年記念誌の編纂でした。これは主に創立以来の日本協会の歴史を纏めるとともに、これからのハンドボールを考える上での資料作りをコンセプトに進められました。渡邊会長の刊行の言葉には以下のように述べられています。

「大谷武一によって日本にもたらされたハンドボールは、日本陸上競技連盟より独立してから、75年、四分の三世紀の歴史を重ねました。これは偏に、先達諸氏の情熱と努力の賜物であり、深く感謝を致すところであります。

ハンドボールは、いま世界に広まり、約180カ国・地域で親しまれており、まさにグローバルスポーツとしての地位を築いています。近年の技術・戦術の発展や高度化は、オリンピックスポーツとしてふさわしく、さらにその地位を強固にしつつあります。

日本のハンドボールは11人制から始まりました。現在では、世界の主流である7人制ハンドボールが主に行われていますが、ビーチハンドボール、車いすハンドボール、マスターズハンドボールと、さまざまなカテゴリーに拡大しており、さらにはユースの世界選手権も設置され、年齢や状況の如何に関わらず、多くの人に親しまれるスポーツへと発展しています。

日本ハンドボール協会では、協会創立50周年に「日本ハンドボール史」と言う素晴らしい大作を纏めています。本誌では、この50年史を補完するとともに、日本ハンドボール100年に向けての礎とすべく、25年間を中心にその歴史と、展望を纏めています。内容としては、日本協会各年度の事業と動き、各都道府県協会の歩み、加盟団体の歩み、特別企画、記録編、資料編などです。この中には、さまざまなハンドボール人の熱い情熱と、奮闘の記録が詰まっています。本誌が、ハンドボールを愛する皆様にとりまして、ハンドボール発展のよりどころになることを願ってやみません。」

以上のように、日本協会の75年の動きを辿ることが出来、また、特別企画の座談会では、今後の発展を期する為の、貴重なご提言を載せております。さらには、創立50年以降の全国大会優勝チームを中心として、当時のご努力の一端をご寄稿載せております。ハンドボールファンの方々にも読んで面白い記念誌となっておりますが、学校関係の皆様には、是非とも図書館にお備え付け戴きたいと思っています。



お願い

記念誌は、ハンドボールファンの方々、都道府県協会やハンドボール協会関係者の方々に、すでに多く渡っております。編集委員会では、3度の校正を致しましたが、特に記録編では、全ての種別に亘る記録を網羅していることもあって、見逃しがあつた様です。この件についてはすでにご指摘を載せております。当時の関係者にしか分からない事実もございます。

つきましては、その様な事実をご発見なされました場合は、必ず、日本協会までご一報くださるようお願いいたします。

入手について

上にも述べましたように、すでに多くの記念誌が配布されております。また、日本協会ホームページに於いて、頒布のご案内をしておりますので、こちらをご覧くださいませ幸いです。

なお、この記念誌は限定制作ですので、全部が無くなり次第頒布終了となりますことをお断りしておきます。

創立75周年記念誌 アンケートのお願い

- ①記載内容に関するご意見
- ②今後の記念誌のあり方
- ③良かった記事
- ④全体の感想（体裁を含めて）
- ⑤その他のご意見

以上に関しまして、8月末日までに日本協会事務局まで、メール、FAXまたは郵送でお送り下さい。
〒150-8050
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
FAX: 03-3481-2367
E-mail: handball@japan-sports.or.jp

●イベント

- ・表彰
- ・記念式典
- ・各種セミナー
- ・各種パーティー
- ・国際会議

●業務渡航

- ・海外航空券手配
- ・海外ホテル手配
- ・査証手続き
- ・トラベルサポート

●教育・研修旅行

- ・修学旅行
- ・語学研修
- ・ホームステイ
- ・各種体験学習
- ・ゼミ・各種合宿

●団体旅行

- ・社員旅行
- ・インセンティブ旅行
- ・視察旅行・研修旅行・海外スポーツ遠征
- ・国内スポーツ合宿
- ・貸切バス・周年旅行

●訪日外国人旅行

- ・公官庁主催招喚プログラム手配
- ・訪日されるお客様に合わせたプラン

AMOK
Enterprise co., ltd.

株式会社 エモック・エンタープライズ

観光庁長官登録一種旅行業1144号(社)日本旅行業協会(JATA)正会員

●東京本社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-19-3 第2双葉ビル2F TEL 03-3507-9777 FAX 03-3507-9771

●大阪支店

〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-8 タイリンビル7F TEL 06-6203-7999 FAX 06-6203-7991

<http://www.amok.co.jp/>

スコアールーム

第8回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

開催期日：3月24日(日)～3月27日(水)

会場：富山県・氷見市ふれあいスポーツセンターほか

【男子】

▼ 1回戦

東久留米西 (東京) 34 (12-11, 22-18) 29	十和田ユース (青森)
矢巾北 (岩手) 44 (24-8, 20-13) 21	境港第一 (鳥取)
LHC静岡 (静岡) 26 (10-11, 16-6) 17	那賀 (和歌山)
菰野 (三重) 23 (12-8, 11-7) 15	椿 (愛媛)
培良 (京都) 29 (12-11, 11-12) 27	富岡南 (群馬)
(3-2 延長 3-2)	
板津 (石川) 21 (8-5, 13-6) 11	市川 (千葉)
岐陽 (山口) 29 (16-5, 13-8) 13	彦根南 (滋賀)
桜田 (愛知) 16 (9-7, 7-8) 15	総社西 (岡山)
中川西 (神奈川) 36 (16-7, 20-14) 21	羽後 (秋田)
神森 (沖縄) 21 (13-6, 8-14) 20	大体大附 (大阪)
塩江 (香川) 28 (11-13, 17-6) 19	福島第一 (福島)
土合 (埼玉) 28 (16-8, 12-5) 13	城東 (徳島)
甲田 (広島) 32 (14-13, 18-18) 31	多々良中央 (福岡)
ヴァルト岐阜 (岐阜) 25 (8-7, 17-9) 16	高砂 (兵庫)
塩山 (山梨) 31 (14-13, 17-10) 23	日吉 (長崎)

▼ 2回戦

氷見西條 (富山) 33 (16-9, 17-15) 24	東久留米西 (東京)
松橋 (熊本) 45 (26-6, 19-8) 14	朝倉 (高知)
重富 (鹿児島) 39 (16-14, 16-18) 35	矢巾北 (岩手)
(3-1 延長 4-2)	
LHC静岡 (静岡) 29 (14-10, 15-8) 18	野木 (栃木)
菰野 (三重) 26 (16-8, 10-13) 21	更埴西 (長野)
培良 (京都) 32 (12-10, 20-11) 21	神埼 (佐賀)
東根第一 (山形) 28 (10-14, 13-9) 26	板津 (石川)
(3-1 延長 2-2)	
大分 (大分) 24 (13-5, 11-13) 18	岐陽 (山口)
桜田 (愛知) 24 (14-7, 10-10) 17	桔梗 (北海道)
中川西 (神奈川) 32 (18-11, 14-14) 25	三松 (宮崎)
神森 (沖縄) 23 (12-9, 11-11) 20	氷見北部 (開催地)
手代木 (茨城) 28 (16-2, 12-10) 12	塩江 (香川)
土合 (埼玉) 18 (7-6, 11-2) 8	東大寺学園 (奈良)
明倫 (福井) 32 (17-15, 15-11) 26	甲田 (広島)
ヴァルト岐阜 (岐阜) 45 (22-5, 23-3) 8	柏刈 (新潟)
塩山 (山梨) 27 (14-11, 13-12) 23	中田 (宮城)

▼ 3回戦

氷見西條 (富山) 35 (16-11, 19-7) 18	松橋 (熊本)
重富 (鹿児島) 31 (16-13, 15-11) 24	LHC静岡 (静岡)
培良 (京都) 27 (13-9, 14-7) 16	菰野 (三重)
大分 (大分) 32 (13-10, 19-13) 23	東根第一 (山形)
桜田 (愛知) 23 (9-8, 14-9) 17	中川西 (神奈川)
手代木 (茨城) 25 (11-7, 14-7) 14	神森 (沖縄)
明倫 (福井) 24 (12-8, 12-9) 17	土合 (埼玉)
ヴァルト岐阜 (岐阜) 36 (20-8, 16-15) 23	塩山 (山梨)

▼ 準々決勝

氷見西條 (富山) 35 (23-12, 12-12) 24	重富 (鹿児島)
大分 (大分) 32 (14-9, 18-12) 21	培良 (京都)
桜田 (愛知) 29 (14-9, 15-15) 24	手代木 (茨城)
明倫 (福井) 27 (13-10, 14-15) 25	ヴァルト岐阜 (岐阜)

▼ 準決勝

大分 (大分) 28 (17-9, 11-10) 19	氷見西條 (富山)
桜田 (愛知) 34 (16-13, 13-16) 33	明倫 (福井)
(2-1 延長 3-3)	

▼ 決勝

大分 (大分) 25 (10-7, 15-10) 17	桜田 (愛知)
-----------------------------	---------

【女子】

▼ 1回戦

粕屋 (福岡) 23 (11-6, 12-4) 10	甘楽第一 (群馬)
西中原 (神奈川) 32 (19-3, 13-8) 11	谷山 (鹿児島)
見前 (岩手) 15 (5-7, 10-7) 14	甲田 (広島)
寺井 (石川) 16 (12-2, 4-8) 10	今治東 (愛媛)
大蔵 (兵庫) 17 (8-5, 9-7) 12	湯沢北 (秋田)
7beat (岐阜) 24 (9-5, 15-7) 12	神埼・東明館 (佐賀)
東陽 (栃木) 22 (9-10, 13-9) 19	凌雲 (北海道)
けやき台 (茨城) 29 (20-1, 9-13) 14	埴生 (長野)
三松 (宮崎) 30 (14-11, 16-7) 18	中田 (宮城)
美東 (沖縄) 18 (7-9, 11-7) 16	氷見十三 (富山)
大阪ジュニア (大阪) 26 (12-16, 14-7) 23	上野 (愛知)
尾花沢 (山形) 21 (13-3, 8-2) 5	土佐 (高知)

▼ 2回戦

氷見西條 (開催地) 18 (9-10, 9-7) 17	粕屋 (福岡)
香川第一 (香川) 24 (9-7, 15-9) 16	郡山第一 (福島)
西中原 (神奈川) 23 (13-4, 10-9) 13	菰野 (三重)
見前 (岩手) 32 (15-1, 17-9) 10	能登川 (滋賀)
原川 (大分) 20 (8-6, 12-6) 12	寺井 (石川)
戸塚 (埼玉) 19 (12-6, 7-5) 11	大蔵 (兵庫)
大住 (京都) 24 (11-7, 13-2) 9	下津井 (岡山)
東久留米西 (東京) 28 (14-12, 14-5) 17	7beat (岐阜)
松橋 (熊本) 38 (18-5, 20-7) 12	東陽 (栃木)
平田 (山口) 24 (12-5, 12-8) 13	大瀬 (奈良)
けやき台 (茨城) 25 (13-5, 12-9) 14	荒川 (和歌山)
三松 (宮崎) 30 (16-5, 14-4) 9	静岡東 (静岡)
美東 (沖縄) 17 (8-1, 9-9) 10	山梨北 (山梨)
大阪ジュニア (大阪) 52 (32-4, 20-4) 8	境港第三 (鳥取)
光陽 (福井) 23 (12-3, 11-8) 11	小島 (長崎)
富里北 (千葉) 19 (10-5, 9-10) 15	尾花沢 (山形)

▼ 3回戦

香川第一 (香川) 21 (10-10, 6-6) 16	氷見西條 (開催地)
(1-0 延長 4-0)	
西中原 (神奈川) 25 (12-6, 13-9) 15	見前 (岩手)
戸塚 (埼玉) 17 (7-8, 10-7) 15	原川 (大分)
大住 (京都) 25 (13-9, 12-13) 22	東久留米西 (東京)
平田 (山口) 17 (9-8, 8-8) 16	松橋 (熊本)
三松 (宮崎) 18 (10-10, 8-7) 17	けやき台 (茨城)
美東 (沖縄) 22 (10-8, 12-10) 18	大阪ジュニア (大阪)
光陽 (福井) 25 (14-7, 11-11) 18	富里北 (千葉)

▼ 準々決勝

西中原 (神奈川) 23 (13-6, 10-2) 8	香川第一 (香川)
大住 (京都) 23 (12-9, 11-5) 14	戸塚 (埼玉)
平田 (山口) 21 (12-10, 9-3) 13	三松 (宮崎)
美東 (沖縄) 24 (10-4, 14-10) 14	光陽 (福井)

▼ 準決勝

西中原 (神奈川) 28 (15-5, 13-8) 13	大住 (京都)
平田 (山口) 16 (8-6, 8-6) 12	美東 (沖縄)

▼ 決勝

西中原 (神奈川) 15 (8-6, 7-8) 14	平田 (山口)
----------------------------	---------

がんばれハンドボール20万人会「サポート会員」4・5月入会・継続会員

【岩手】中館 豊、中島昭博、高橋元一【埼玉】吉原 伯、豊田 武、豊田久恵、根城 泰
 【千葉】舍利弗芳子、外山朝子【東京】塩川安賢、緑川正博、千葉栄一、中澤重夫、市川央人、大塚文雄、
 兼子 真、菊地知男、梶間珠美【神奈川】近久紀人、棚村友博、吉澤和美、斉藤航大、久保公雄、久保靖子、
 佐分正典【富山】金原 至【石川】酒谷信彦【福井】森国琢人、斉藤 薫、吉田幸斗、谷口克也、
 飯田日菜、谷口貴大、宮下真和、飯田柊馬、吉田妃那、松本侑大、吉田和幸、宮下楓也、下川敬路、平林渉太、
 坂本健太、小寺莉音、稲村結人、渡利詩穂、森国元哉、上坂 瑞、森国真夕、渡利真明、長野 竜、増田ふう、
 田端隼也、升澤結菜、坪川公香、朝日友香、上村 舞、堀田芽依、柘植萌々香、糸井ひなた、藤田幸歩、
 高畑真子【愛知】西川勤也、浅野克彦、久村修三、山本幸代【三重】加藤 公【大阪】吉田敏明、
 草ノ井文子、大西和雄【岡山】村田憲俊【広島】山下明子、小山 章、有田 忍【沖縄】大城一樹

【7月・8月の行事予定】

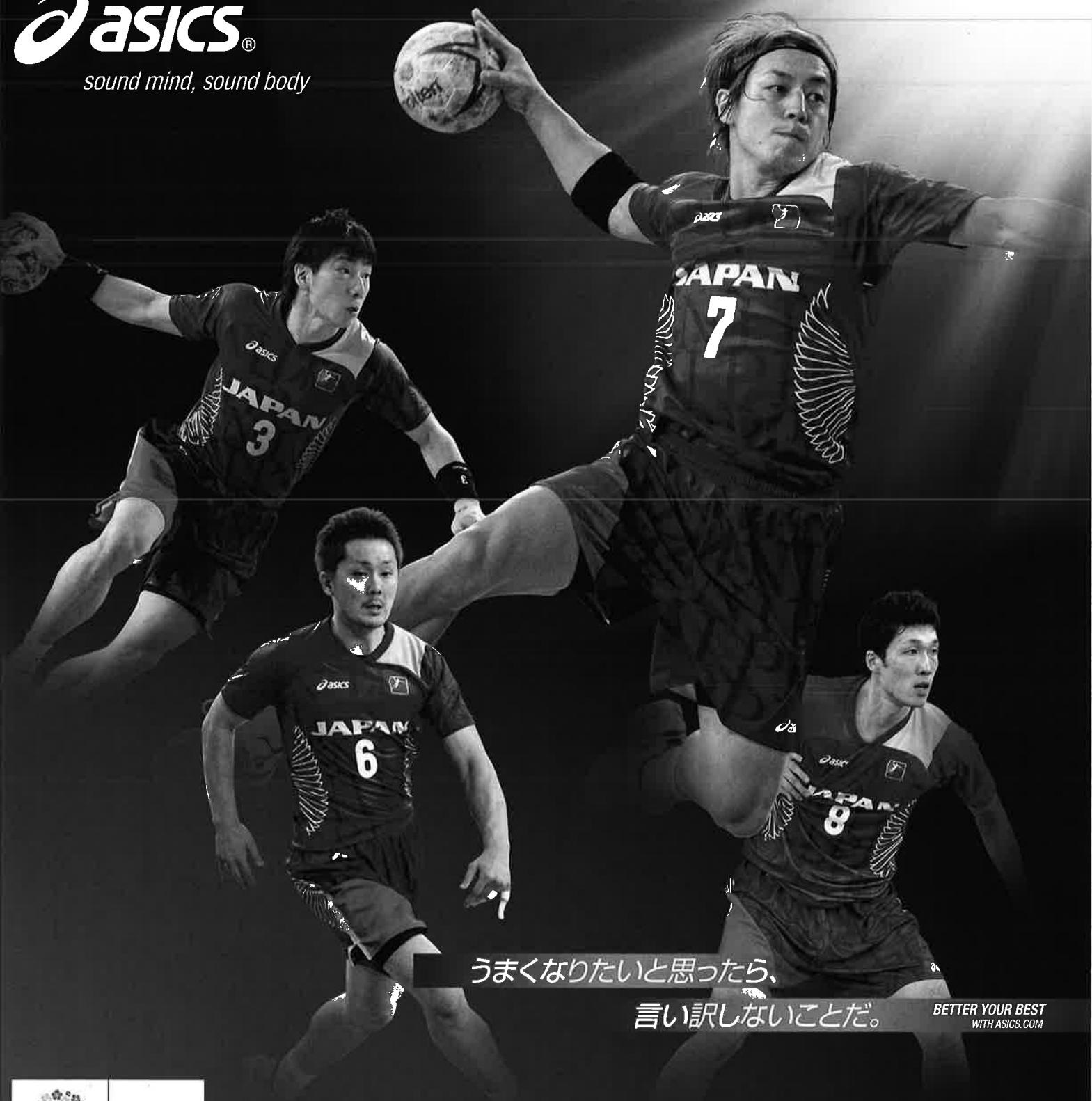
【会議】	7月30日(火)～8月4日(日)
7月13日(土) 常務理事会	第64回全日本高校選手権大会 (佐賀県・神崎市ほか)
【大会】	8月1日(木)～4日(日)
7月3日(水)～7日(日)	第26回全国小学生大会 (京都府・京田辺市)
第3回全日本社会人選手権大会 (山口県・周南市)	8月2日(金)～4日(日)
7月6日(土)～7日(日)	第21回全日本マスターズ大会 (岩手県・花巻市)
第33回全国クラブ選手権大会・西地区大会 (鹿児島県・霧島市ほか)	8月10日(土)～23日(金)
7月20日(土)～21日(日)	第5回男子ユース世界選手権 (ハンガリー・ブタオロス)
第33回全国クラブ選手権大会・中地区大会 (大阪府・堺市)	8月17日(土)～18日(日)
7月20日(土)～21日(日)	第40回全国高等専門学校選手権大会 (青森県・十和田市)
第33回全国クラブ選手権大会・東地区大会 (福島県・本宮市)	8月20日(火)～23日(金)
7月26日(金)～28日(日)	第42回全国中学校大会 (愛知県・豊田市)
第18回ヒロシマ国際大会 (広島県・広島市)	8月24日(土)～25日(日)
	第15回全日本ビーチハンドボール選手権大会 (兵庫県・神戸市)
	8月31日(土)～2014年2月23日(日)
	第38回日本リーグ (全国各地)

HAND BALL CONTENTS Jun. Jul.

平成25・26年度日本協会理事・監事が決定	1	決定迫る！	
第8回春の全国中学生選手権大会	2	2020オリンピック・パラリンピックを東京に！！	17
男子優勝・大分中学校		フリースロー：「リオ」へ続く道	早川文司 18
監督・瀧元泰昭、主将・豊田 翔	3	第21回全日本マスターズ大会	
女子優勝・西中原中学校		inいわて花巻でお会いしましょう	19
監督・大房 勝則	4	国際ハンドボール連盟における	
PHOTO SNAP	5	6ヶ月間の研修について	稲福貴史 20
東アジアクラブ選手権大会		第16回ハンドボール研究集会要項	22
男子：大同特殊鋼		平成25年度授業実践者募集要項	23
総監督・清水博之、主将・地引貴志	8	2013年度全国大会レフェリー名簿	24
女子：オムロン		審判部報告：公認審判員A・B級審査会と	
GM代行・西窪勝広、ヘッドコーチ・黄慶泳、		レフェリーコースの開催について	越田義昭 25
キャプテン・藤井紫緒	10	日本ハンドボール協会創立75周年記念誌刊行	26
日韓定期戦 2013	12	スコアールーム：	
第1回U-22東アジア選手権	14	第8回春の全国中学生選手権大会	27
第5回男子ユース世界選手権		20万人会員／7月・8月の行事予定／もくじ	28
組み合わせ抽選決まる	16		

(登録チームの購読料は登録料に含む)

asics[®]
sound mind, sound body



うまくなりたいと思ったら、

言い訳しないことだ。

BETTER YOUR BEST
 WITH ASICS.COM



asics
 TOKYO 2020
 オフィシャルパートナー
 (スポーツ用品)

©JHA2012年ハンドボール日本代表

グリップ性に優れたハイレソポンスモデル。

GEL-DOMAIN THH530
 ¥11,550(本体 ¥11,000)



ホワイト×ブラック(0190) レッド×ブラック(2390) 内側/レッド×ブラック(2390)

安定性とフィット性が融合したハイスぺックモデル。

GELBLAST 4 THH528
 ¥13,440(本体 ¥12,800)



ブラック×ネオンオレンジ(9030) フラッシュオレンジ×ブラック(3090)

●表示価格はすべて消費税込みのメーカー希望小売価格です。()内は消費税抜き本体価格です。●商品についてのお問い合わせは、0120-068-806 (携帯・PH5からもおかけいただけます) asics.com

アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。

平成二十五年六月二十六日印刷
平成二十五年七月一日発行

東京都渋谷区神南一―一―
電話 代表〇三―四八―三三六
振替 〇〇三〇―七―〇二九三

編集兼発行人 川上憲太

定価 年間三三〇〇円



いつも新しい空を目指して。

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER 

国内線のお問合せ ☎ 0570-029-222 (全国一律料金) 国際線のお問合せ ☎ 0570-029-333 (全国一律料金) www.ana.co.jp